栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事 (機械設備)

		図面	リス	F	
図番	図面名称	縮尺	図番	図 面 名 称	縮尺
M - 01	表紙・図面リスト	NS	M - 17	冷暖房設備 平面図 (改修前)	1/100
M - 02	機械設備工事特記仕様書(1)	NS	M - 18	換気設備 平面図(改修前)	1/100
M - 03	機械設備工事特記仕様書(2)	NS	M - 19	海水加温・海水配管設備 機器表・配管用架台一覧表(改修前)	NS
M - 04	配置図・付近見取図	1/600	M - 20	海水加温設備 系統図(改修前)	NS
M - 05	冷暖房設備 平面図(改修後)	1/100	M - 21	海水加温設備 平面図(改修前)	1/100
M - 06	換気設備 平面図(改修後)	1/100	M - 22	海水配管設備 系統図 (改修前)	NS
M - 07	海水加温・海水配管設備 機器表・配管用架台一覧表(改修後)	NS	M - 23	海水配管設備 平面図(改修前)	1/100 • 1/50
M - 08	海水加温設備 系統図(改修後)	NS	M - 24	井水・エアー配管設備 平面図 (改修前)	1/100
M - 09	海水加温設備 平面図(改修後)	1/100	M - 25	井戸海水配管設備 平面図(改修前)	1/100
M - 10	海水配管設備 系統図(改修後)	NS	M - 26	自動制御設備 制御系統図・制御機器表(改修前)	NS
M - 11	海水配管設備 平面図(改修後)	1/100 • 1/50	M - 27	自動制御設備 制御盤結線図 (改修前)	NS
M - 12	井水・エアー配管設備 平面図 (改修後)	1/100	M - 28	自動制御設備 平面図 (改修前)	1/100 · 1/50
M - 13	井戸海水配管設備 平面図(改修後)	1/100	M - 29	参考仮設計画図・想定概略工程表	NS
M - 14	自動制御設備 制御系統図・制御機器表(改修後)	NS			
M - 15	自動制御設備 制御盤結線図(改修後)	NS			
M - 16	自動制御設備 平面図 (改修後)	1/100 • 1/50			



一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号
 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号





理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号
角田	角田	門 ₊	設計年月日		図面名称		M-01
	<u> </u>	× ×		2024. 3		表紙・図面リスト	/ 20

機械設備工事特記仕様書

I. エ 事 概 要

1 工事場所 東伯郡湯梨浜町石脇

2 建物概要

番号	建物名称	構造	階 数	建築基準法による 延べ面積(m ²)	消防法施	行令別表第一の区分	備	考	
1	サザエ生産棟	S	1	695.5	()項			
2					()項			
3					()項			
4					()項			
5					()項			

3 工事種目 (💿 印の付いたものが対象工事種目)

番 号 工事種目	1	2	3	4	5	屋外	備考
 ● 空気調和設備 							
● 冷暖房設備	0						
● 換気設備	0						
● 排煙設備							
 自動制御設備 	0						
● 衛生器具設備							
● 給水設備	0						
● 排水設備	0						
● 給湯設備							
● ガス設備							
● 浄化槽設備							
● 消火設備							
 ● さく井設備 							
 ● 電気設備工事 							
● 建築工事							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

	● 印の付い;	たものを適用する。							
	項目		設備概要						
	● 空気調和設備	● 単一ダクト方式	● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式						
	● 冷暖房設備	• ファンコイルユニ	ット方式 💿 パッケージ方式						
空気調	● 暖房設備	● 温水暖房 ●	蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所式 ● 中央式) ● 床暖房						
和	● 熱源	 ● 電気 ● 灯油 	● A重油 ● ガス ● バイオマス						
冷暖房設備	● 主要熱源機器	 鋼製ボイラー ・ ・ ・							
換	気設備	 ● 第一種 ● 第 	二種 💿 第三種						
排	煙設備	● 機械排煙(適用	法規 ● 建基法 ● 消防法)						
自	動制御設備	 ① 電気式 ● 電 	子式 ● デジタル式						
	● 給水設備	給水方式 水源	 水道直結方式 ● 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 ● 水道水 ● 井水 						
		排水方式	 ● ポンプ排水 (● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水) 						
			汚 水 ④ 公共下水道 ● 浄化槽						
	● 排水設備	放流先	雜 排 水 ● 公共下水道 ● 浄化槽						
			雨 水 • 公共下水道 • 倒溝 • 河川						
衛生			処理方式 ●小規模合併 ●合併						
衛生設備		浄化槽	処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川						
	● 給湯設備	● 局所式 (● ガス	● 油 ● 電気) ● 中央式(● 油 ● ガス ● 電気)						
	● 消火設備	• スプリンクラー	 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水管 ・ 連結散水 ・ 泡消火 ・ 泡消火 ・ 粉末消火装置 ・ 窒素系 ・ ・ ・						
	● ガス設備 ・	 都市ガス(MJ/Nm3) ● 液化石油ガス						

一級建築士事務所/建築設備設計事務所

Mechanical&Electrical Engineers

X.PLAN

Ⅱ. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

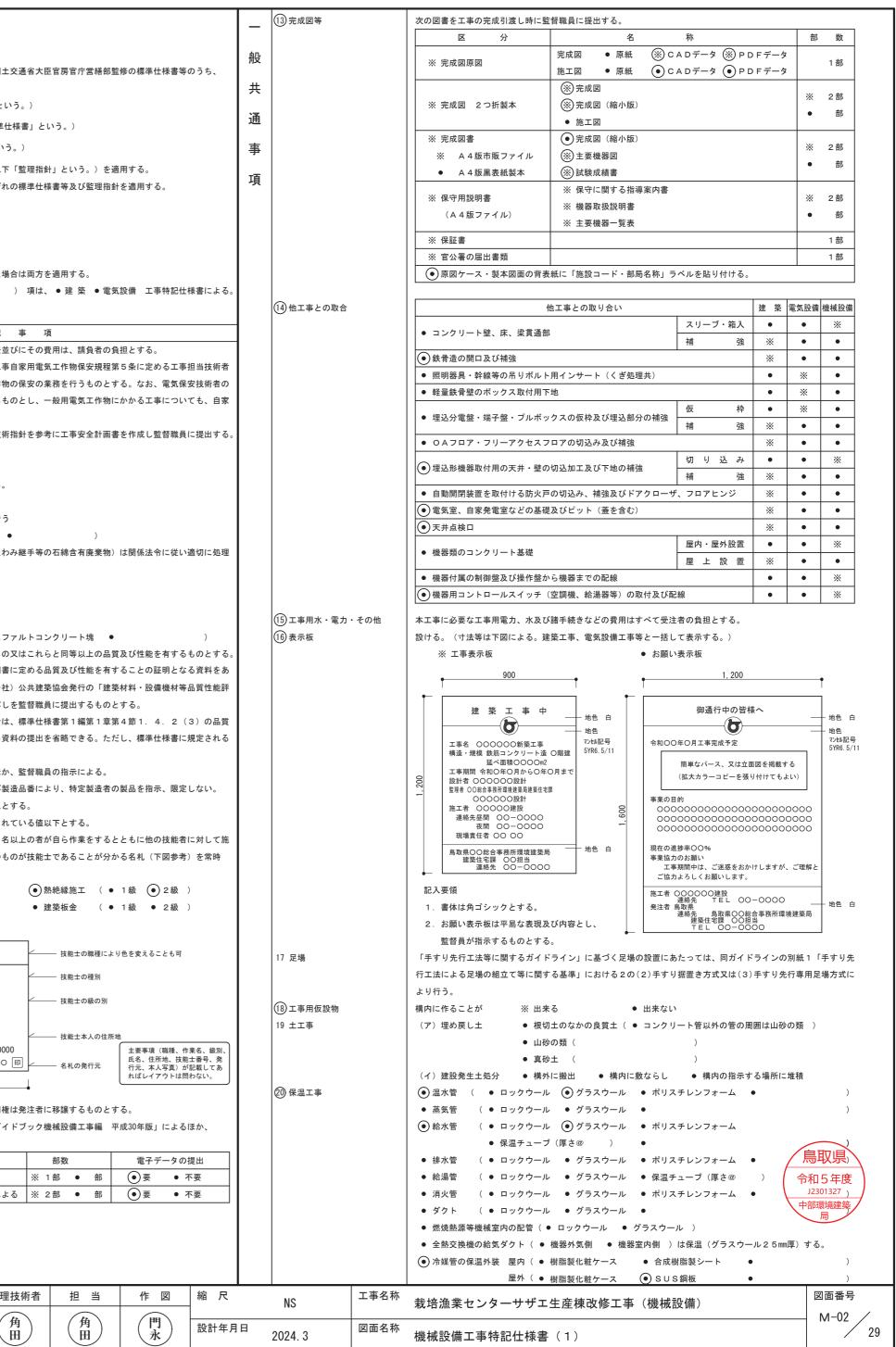
- (1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様書等のうち、
 印の付いたものによる。
 - 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
 - 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
 - ④ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和4年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- (3) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1)項目は番号に 〇 印の付いたものを適用する。
- (2)特記事項のうち選択する事項は 🖲 印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、 ※ 印の付いたものを適用する。
 印と ※ 印の付いた場合は両方を適用する。
 (3) 一般共通事項のうち (
) 項は、● 建 築

	項目		
	(1) 官公署その他への手続		7
	2 電気保安技術者	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並 工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事	
		の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物	
—		資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるも	
般		用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。	
洞又	 3 工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術	拮
共	(4)発生材の分析及び処理	引渡しを要するもの	
		※ 無し ● 有り()	
通		引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。	
+		特別管理産業廃棄物	
事		※ 無し ● 有り ● 本工事において調査を行う	
項		(● 廃石綿(配管用保温材) ● PCB使用機器 ●	
-7		アスベスト含有設備資機材(ガスケット、パッキン、たわ	み
		を行う。	
		PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。	
		撤去予定機器の微量PCB分析 ※ 無し ● 有り	
		再生資源化を図るもの	
		※ 無し (●)有り(● コンクリート塊 (●)アスフ	
	(5)機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの	
		ただし、これらと同等以上のものとする場合は、設計図書	
		らかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。なお、(一社	
	6 機材の品質・性能証明	価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写し JIS等のマーク及び評価書のある機材を使用する場合は	
		ひていたい ひんしい 一回 しの の しんり と しい り の の 日 に ひんし い し い し い し い し い し い し い し い し い し い	
		製作図、試験成績等は除く。	
	(7)機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか	•
	8 図形等の表示	機器類は、図示する形状、配管等などの取出し位置及び製	造
	 9 電気容量及び機器表示 	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上と	す
		電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載され	.τ
	 技能士の適用 	下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名	Ŀ
		工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのも	σ,
		着用する。	
		 ● 配管 (● 1級 ● 2級) 	
		● 冷凍空気調和機器施工 (● 1級 ● 2級)	
		《技能士名札参考図》	
		↓ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	_
		職種 配管 作業名 建築配管作業	
		E	
		自宅鳥取市	
		写真(30×40程度) 技能士番号 00-0-000-000-000 発行 0000000000	_
		↓	
		90 mm	
	11)施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権	13
	12)完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイ	۲
		監督職員の指示による。下記のものを提出する。	
		区 分 分類・規格 撮影箇所	
			_
		エ事写真 カラーサービス判 各工種工程毎	_

建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

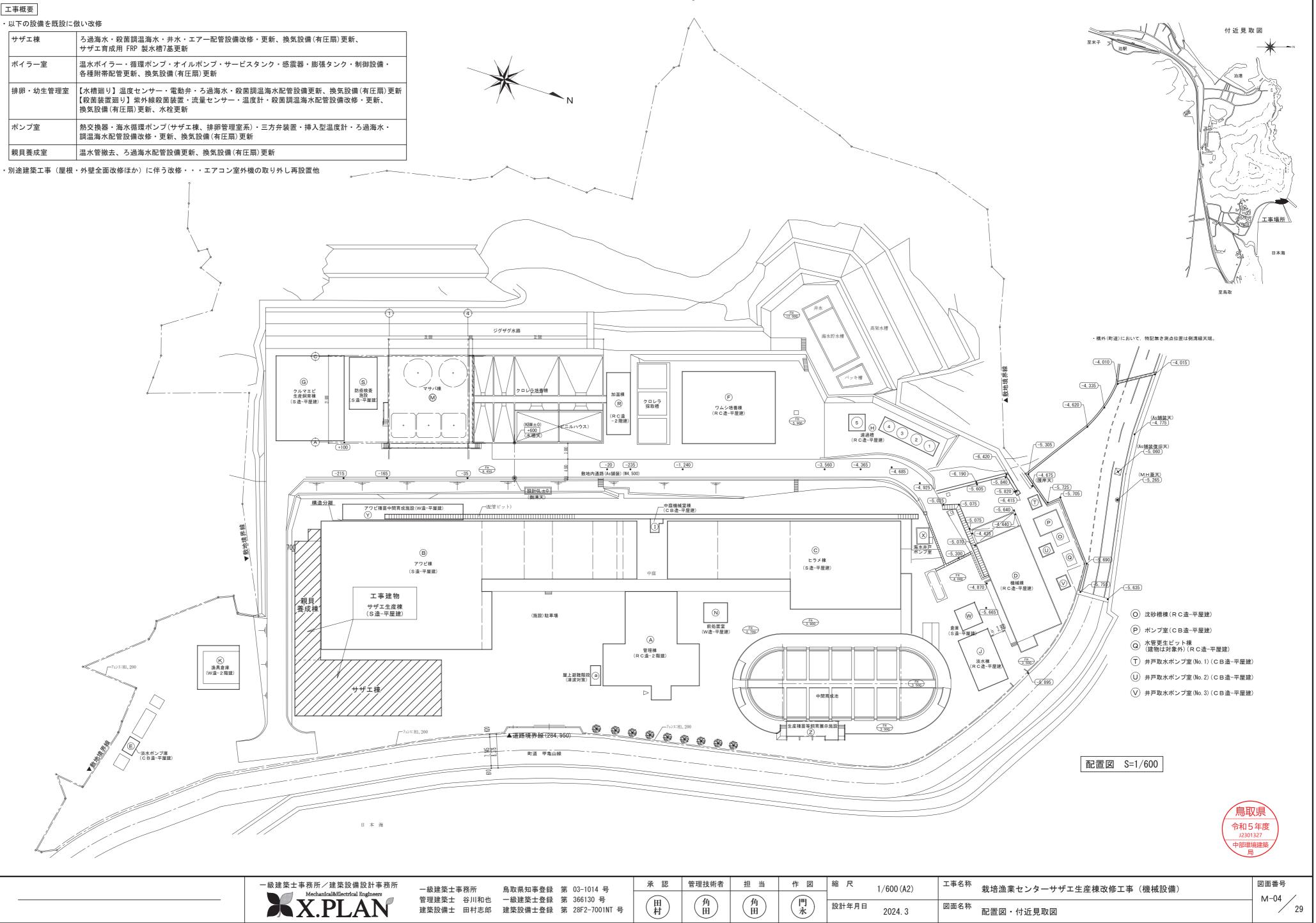


21 鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ペトロラタム系 ● ブチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート	1 設計用温湿度条件 1 1	室内(調整目標値)	1 衛生器具の参考型番 6	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
22 祀稼柩于	 ● 標準図(施工3) ● (1) 絶縁フランジ ● (2) 絶縁シート ● (3) 絶縁スリーブ ● (4) 絶縁ユニオン ※ 会成づく創(成形) ● ポリニトニフリオロエチレン(制) ● ベローブ形(スニンレス制) 	空	外気条件 — 般 ()	2 小便器用節水装置 衛	
23 防振継手	※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製)	エ 気	温度 湿度 温度 湿度 湿度		 洗浄水量4リットル/回以下 ※ 原因ばたたず、 ()
24 伸縮管継手		調	(DB) (RH) (DB) (RH) (DB) (RH)		※ 個別感知方式 (● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式
25 塗装	各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)	2011 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	夏季 °C % °C % <td>月 3 自動水栓 設 4 ★ 毎 8 3 法 6 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5</td> <td>電源供給方式 ● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池</td>	月 3 自動水栓 設 4 ★ 毎 8 3 法 6 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	電源供給方式 ● A C電源 ● 自己発電 ● 乾電池
	(ア) 埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ) 亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面	ſ,	冬季 °C % °C % °C %	備 4 大便器洗浄弁	操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式)
	(ウ) 亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ) 亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類				● 手動式
	(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面	(2) 2 冷却水管	※ SGP (白) • SGP-VA • SGP-PA	5 温水洗浄便座	洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式
	(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウムー亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面	○ 3 冷水・温水・冷温水管	※ SGP(白) ● SGP−HVA ● ステンレス鋼管(SUS304)	6 器具と排水管接続	※標準図(施工64) ●標準図(施工65)
	(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面		 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) 	(7) 1 量水器	● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管	4 膨張・空気抜・補給水管	※ S G P (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※ 直読 ● 遠隔表示)
	 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所() 	┃ 設 5 蒸気給気管 借	※ SGP (黒)	給 ② 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316
26 ステンレス鋼管の接合方法	呼び径60Su以下の継手は、SAS322を満足するものとする。	6 蒸気還水管	※ STPG370−Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)	水	● HIVP ● 架橋ポリエチレン管
27 溶接配管の検査	 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 	7 油・油用通気管	一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管	設	(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
	非破壊検査の適用 (● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)	3 8 冷媒管	※ 断熱材被覆銅管	備	(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● HIVP ● SUS304 ● SUS316
	抜 取 率(●標準仕様書による ● %)	9 空調用給水管	 ● ステンレス鋼管 ● SGP-VA 		● 水道配水用ポリエチレン管(75~100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)
28 埋設表示	● 地中埋設標を図示する箇所に設ける。	気 (10) 空調用排水管	※ SGP (白) • VP		(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
	 ● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●) 	┃ 設 ┃ 11 弁類	<u>ж 5к • 10к</u>		(オ)ビニル管の接合方法 ※接着接合 ・ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)
② 支持金物・固定金具	ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。	112 ファンコイルユニット	※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイヤフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。		(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ●融着継手 75A以上 ※ 融着継手
	屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。	13 ダンパー	(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)	3 弁類	※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。
(30) 総合試運転調整	下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。		(イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●		 ● 5 K (受水槽以降の配管に使用) ● 10 K (公営水道に直結する配管に使用)
	 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 浄化槽放流水質 	14 ダクト	※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト		 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用)
	 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質(● 一般飲料水適否検査 ●) 		● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法 (● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法)	4 水槽のマンホール	屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。
	 ● その他水質等(● 雑用水 ● 空調用流体 ●) 		(長辺1500㎜を超えるものはアングルフランジエ法とする。)	1 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● ∨ P ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管
31 アスベスト含有建材の処理			 マングルフランジエ法 	8	 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
2	処理を行うアスベスト含有建材の仕様等		 アンラルフランシェム 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 	排	 (1) 座内維排水官 ● 耐火二層管
	<u>処理を行うアスペスト営有進材の</u> は様等 建材の内容・箇所 仕様等 処理を行う範囲	 15 吹出口・吸込口	 ・	<u>к</u>	 ■ INX一層官 (ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用継手)
				±Ω.	
		16 チャンバー等	シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。	—————————————————————————————————————	(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ) 屋の様水 節 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管
			接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。	1)H3	(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中)
	※県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。		線状吹出口には、(長さ+100)× 300 × 300Hの接続チャンバーを設ける。		● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管
	※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する		外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。	2 満水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※取付ける ● 取付けない
	法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。	17 消音内貼り	吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類に内貼する。 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。		※ 施工する ● 施工しない
	 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 		吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。	4 煙試験	※ 行わなくてもよい
	分析方法はJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。	 18 瞬間流量計及び流量測定口	 形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式	1 配管材料	● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管
	 アスベスト粉じん濃度測定を行う。 		下記の箇所、若しくは図示により取付ける。		● 保温付被覆銅管 ● 銅管
	(測定時期:測定場所:測定場所:)		 ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	給湯	湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
	 ●洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 		 ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	777 設 2 弁類	ж 5 к • 10 к
	 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスティックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 		 ボイラー又は熱交換器の温水出口 瞬間流量計 測定用タッピング 		
	対象箇所(冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 	1 配管材料	(ア)-般配管 ● SGP(白) ● STPG
③2) 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。		 「ホニホペッターの谷送り官 ● 瞬间流量計 ● 潤定用タッピング ユニット形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング 		 (イ) 土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
33 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	 19 定風量・変風量ユニット	 ● ユニット形空気調和機の冷温水人口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピンク ● メカニカル形 ● 風速センサー形 	消	(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS
(34) はつり工事における非破壊検査	探查方法 ※電磁誘導式 ● 放射線透過検査			火 2 弁類	ж 10K • 16K
35 室内空気中の化学物質の濃度測定	実施する。	(20) 温度計	機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付し形温度計	設 3 保温	(ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する
(36) 火災保険等	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。	21 冷温水管の空気抜き	空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。	備	(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する
	(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)		※ 手動 ● 自動		(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別 e 3 ・(ハ) ・ 哑による)
37 グリーン購入	グリーン購入は次のもとのする。		自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))		● 屋内消火栓用(※ 施工しない ●施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ●施工する)
	 ● 空調用機器() ● 衛生器具 (機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。		● 連結送水用 (※ 施工しない ●施工する) ● 連結散水用 (※ 施工しない ●施工する)
) ● 断熱材 () ● 配管材 (● 再生硬質ポリ塩化ビニル管	22 空調機用トラップ	トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製	4 屋内消火栓	● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 (● 1 号 ● 2 号)
) • その他 ()	(23) 鋼板製煙道	材質及び厚さ ● SS400(※3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※1.5mm ● 3.0mm)	5 ガス系消火剤の種類	● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23
38 鳥取県公共工事環境配慮指針	対象工事		煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける	6 ガス系消火の起動方式	※ 手動 ● 自動手動切替式
39 建築物省エネ法	対象工事		煤じん量測定口 (80 φ × 2) ※ 取付ける ※ 取付ける ● 取付けない 	 1 都市ガス設備	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
40) 耐震施工	7/**** 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1 k N 以下の一般機器について、製造	24 オイルサービスタンク	油面計はゲージ式(側圧計)とする。	11 1 2 配管材料	(ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管
		25 地下オイルタンク	据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り)	」 ガー	(7) NHLE 《3GF(日) 《日本街面被復興日 (1) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管
	10/1/29 つ回た方法を採用する場合は、この取りではない。 (1)機器の据付け及び取付け		タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト	ス ス	(1)上间下配官 ※ G成樹脂被復調官 (ウ)地中配管 ※ G成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管
	(1) 機器の協行 (7及び取行) 7 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) [kN]に、		基礎杭 ※ 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)	↓ ↑ ↓ 設 3 ガスメータ	(ワ)地中記官 ※ 合成倒脂被復調官 ● カス用ボリエテレン官 ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)
			1 土留め工事 ● 要 ● 不要		
	地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 ● 特定の施設 ● 一般の施設		タンクローリー用アース端子を設ける。		● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (取付け ※ 本工事 ● 別途)
	設計用標準小平展度 ● 特定の施設 ● 一般の施設 設置場所 機器種別 ● 重要機器 ● 一般機器 ● 重要機器 ● 一般機器	26 油面制御装置	油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●	4 バルク貯槽	
	上層階 機器 2.0 1.5 1.5 1.0	27 フィルター等付属品	 ● 機器表特記による。 	5 容器廻りの配管	 ●標準図(施工73)の ●要領(a) ●要領(b) ●要領(c) ● 要領(c)
	上 層 階 防振設置機器 2.0 2.0 1.5		 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 	6 容器転倒防止	 ●標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b)
	水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0	28 パッケージ空調機の能力表示	インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。	7 ガス漏れ警報器	 ● 不要 ● 要(※別途工事 ● 本工事)
	機器 1.5 1.0 1.0 0.6 中間階 防振設置機器 1.5 1.5 1.5 1.0	29 防振吊り及び支持金物	標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。	1 処理種別及び方式 12	● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式
	中間階 防振設置機器 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6	Δ 1 ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製 (厚1.6mm)		 ● その他性能評価を受けた方式()
	機器 1.0 0.6 0.6 0.4	4 2 排煙口	形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形	净	● 合併処理 (● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式)
	地階・1階 防振設置機器 1.0 1.0 1.0 0.6	排 ^{- 加速日} 煙	取付け ● 天井取付 ● 壁取付	化 2型式	● ユニット型 ● 現場施工型
	水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6		電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要)	槽 3 処理能力	● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m 3 / d
	上層階の定義 2~6階建:最上階、7~9階建:上層2階、10~12階建:上層3階、13階建以上:上層4階	備 4 排煙風量測定	電気は(送回時に) A 19 G G J 建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。	設 4 放流水の水質	● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下
	中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの	4 排/注風 里 例 定 (C) 1 中央監視制御盤装置	 全未設備と対体且本初益半官2010年版((対)口や建未設備・昇降低とフター)の検査方法に半する。 ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し 	備	● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下
	重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置	(5) 中央監視制御盛装直 - 2 電源装置	 ● 有り(構成(酸能は、図示による) ● 無し ● 要(●本工事 ● 別途工事) ● 不要 	5 排水方式	※ 自然流下 ● ポンプ排水
	● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類 (燃料小出槽を含む)			6 埋戻し土	 ● 砂 ● 根切土の中の良質土
	• ()		取付高さ ※ 1300mm ● mm	7 土留め工事	 ● 不要 ● 要(図示による)
	(2)設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。	御 (4)計装工事の配線 御	• 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。	8 マンホールふた	※ 製造者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式) 鳥取り
	(3)設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年	設備	 天井隠ぺいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。 	9 消毒薬	3ヶ月相当分を納入する。 令和5年
	版」((一財)日本建築センター)を参考にする。	VH			J230132
					中部環境部
	Mechanical&Electrical Engineers		→ →登録 第 03-1014 号 承 認 管理技術者 担 当 作 図 縮 尺	NS 工事名称	栽培漁業センターササエ生産棟改修工事(機械設備)
		管理建築士 谷川和也 一級建築士		NS	

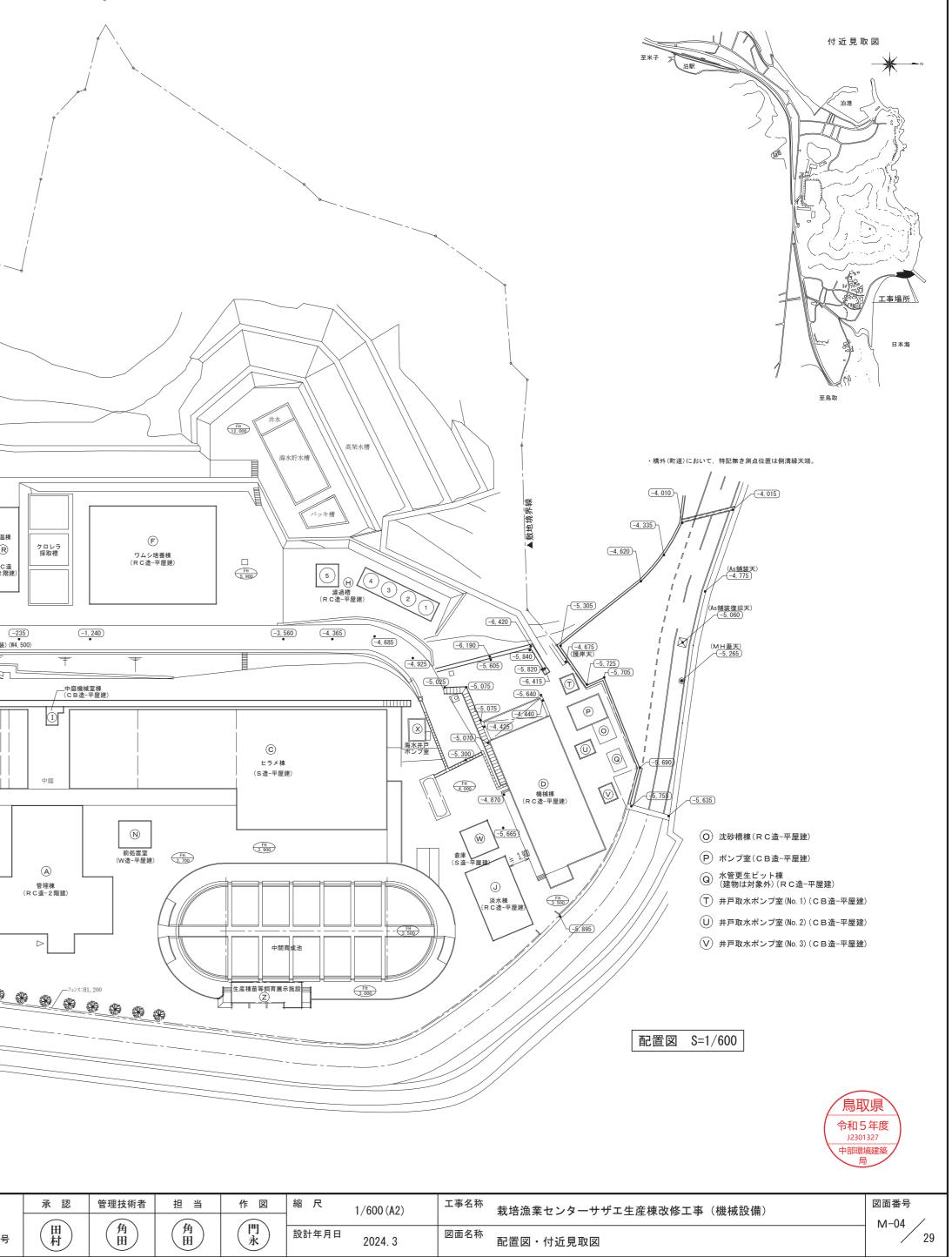


・以下の設備を既設に倣い改修

サザエ棟	ろ過海水・殺菌調温海水・井水・エアー配管設備改修・更新、換気設備(有圧扇)更新、 サザエ育成用 FRP 製水槽7基更新
ボイラー室	温水ボイラー・循環ポンプ・オイルポンプ・サービスタンク・感震器・膨張タンク・制御設備・ 各種附帯配管更新、換気設備(有圧扇)更新
排卵・幼生管理室	【水槽廻り】温度センサー・電動弁・ろ過海水・殺菌調温海水配管設備更新、換気設備(有圧扇)更新 【殺菌装置廻り】紫外線殺菌装置・流量センサー・温度計・殺菌調温海水配管設備改修・更新、 換気設備(有圧扇)更新、水栓更新
ポンプ室	熱交換器・海水循環ポンプ(サザエ棟、排卵管理室系)・三方弁装置・挿入型温度計・ろ過海水・ 調温海水配管設備改修・更新、換気設備(有圧扇)更新
親貝養成室	 温水管撤去、ろ過海水配管設備更新、換気設備(有圧扇)更新

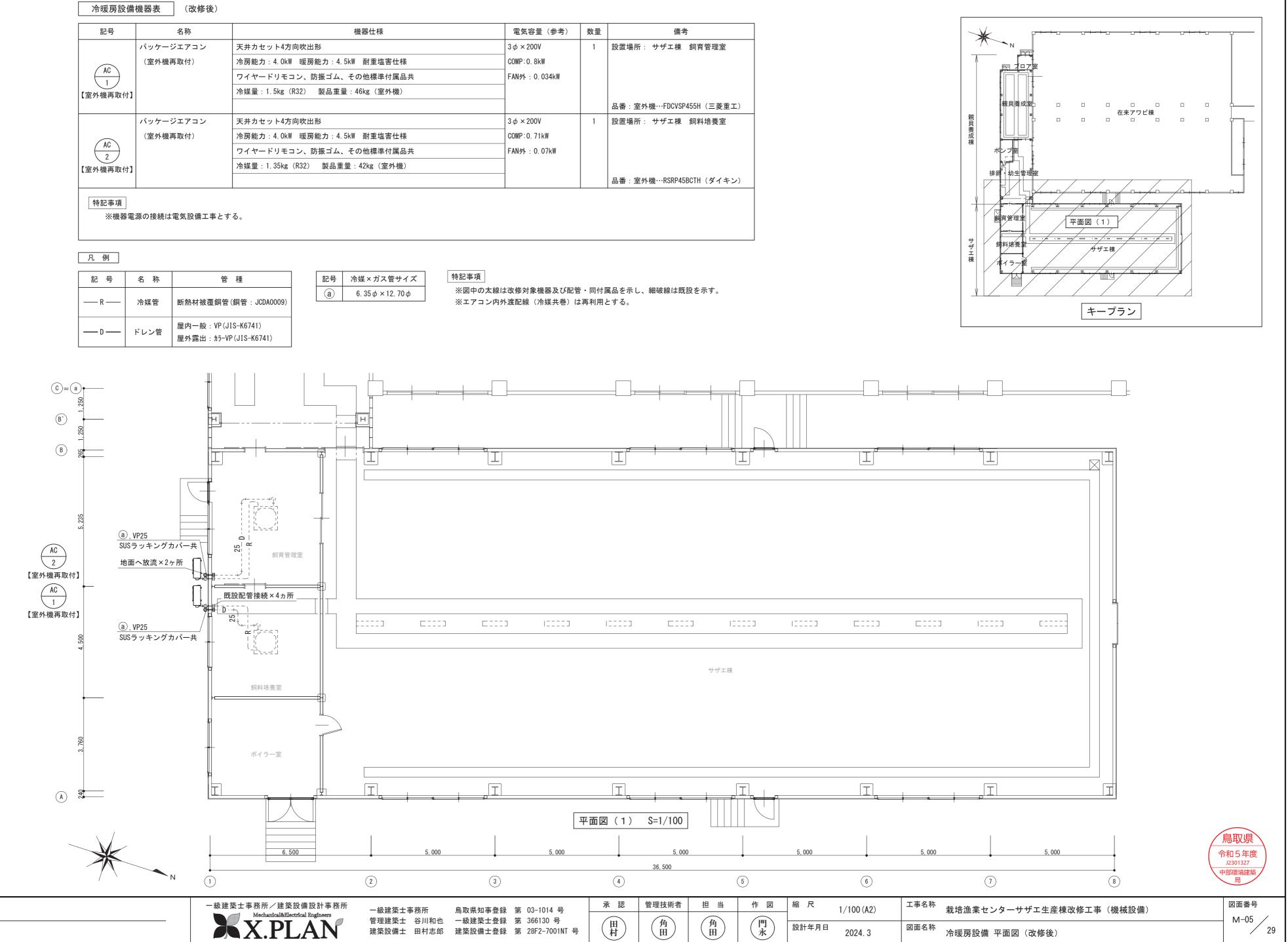


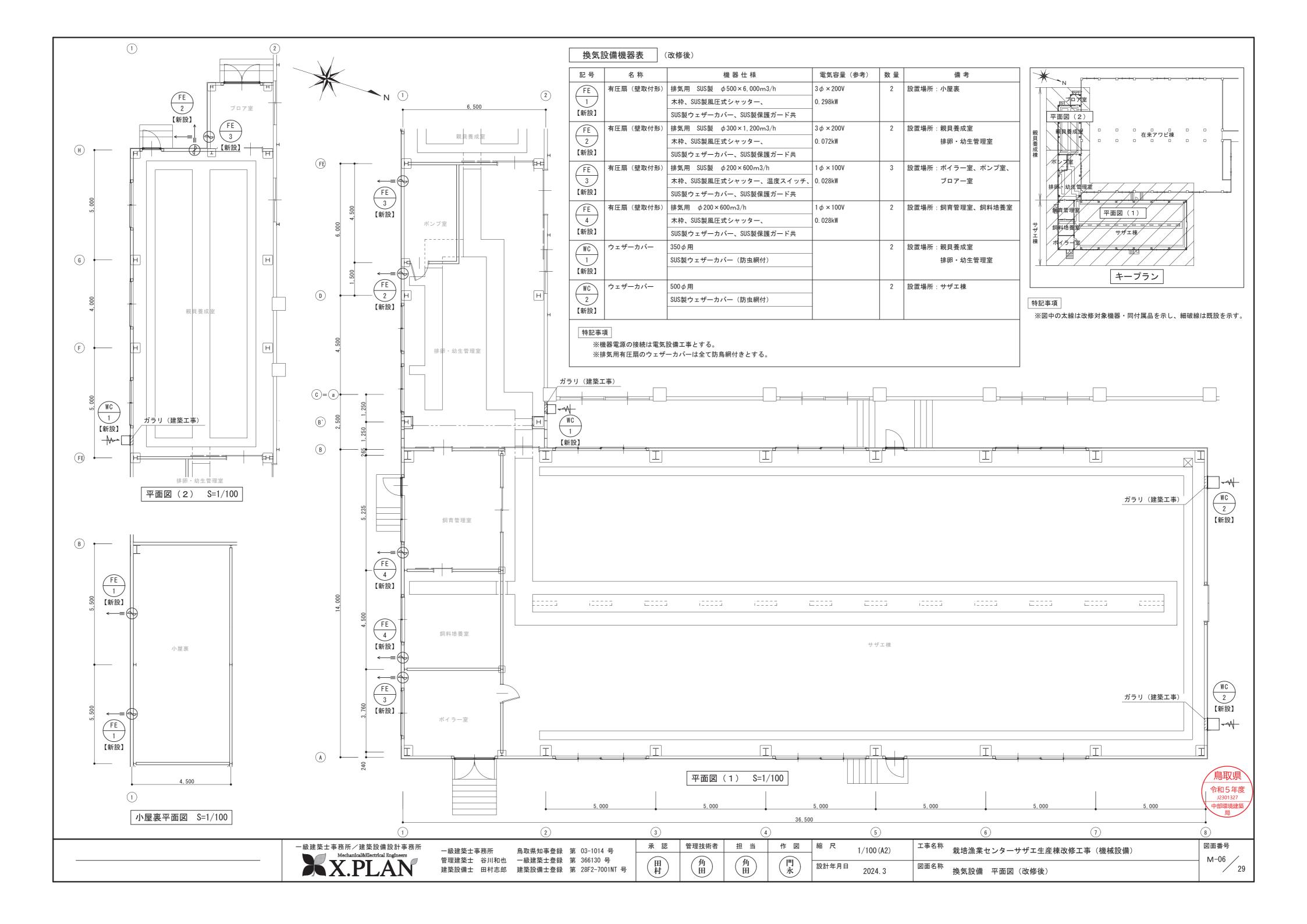




記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	
	パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所: サ
	(室外機再取付)	冷房能力:4.0k₩ 暖房能力:4.5k₩ 耐重塩害仕様	COMP:0.8kW		
$\left(\begin{array}{c} AC \\ 1 \end{array}\right)$		ワイヤードリモコン、防振ゴム、その他標準付属品共	FAN外 : 0.034kW		
		冷媒量:1.5kg(R32) 製品重量:46kg(室外機)			
					品番:室外機·
	パッケージェアコン	天井カセット4方向吹出形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所: サ
	(室外機再取付)	冷房能力:4.0k₩ 暖房能力:4.5k₩ 耐重塩害仕様	COMP:0.71kW		
$\left(\begin{array}{c} AC \\ 2 \end{array}\right)$		ワイヤードリモコン、防振ゴム、その他標準付属品共	FAN外: 0.07kW		
室外機再取付】		冷媒量:1.35kg(R32) 製品重量:42kg(室外機)			
					│ │ 品番:室外機··

凡例 特記事項 記号 冷媒×ガス管サイズ 記号 名 称 管種 a 6. 35 φ × 12. 70 φ ┃ 断熱材被覆銅管(銅管:JCDA0009) — R — 冷媒管 屋内一般:VP(JIS-K6741) — D — ドレン管 屋外露出:カラーVP(JIS-K6741)





記号	名称	機器仕様	電気容量 (参考)	数 量	備考
	温水用ボイラー	鋼板製 低圧立形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所:ボイラー室
HB		出力:116k₩ A重油楚:13.8L/h	バーナ : 0. 25kw		
1		伝熱面積:2.2m2 缶水容量:120L	 設備電気容量:0.50KVA		 ※既設RC基礎再利用
新設】			オイルフ゜レヒーター : 0. 25KVA		
	オイルサービスタンク	角型:100L 鋼板製:3.2t 450W×400D×600H		1	設置場所:ボイラー室
OST		レベルゲージ、転倒防止金具、点検口付、タラップ			
<u>1</u> 新設】		鋼製架台:H=1,200(溶融亜鉛メッキ)共			※既設RC基礎再利用
	膨張タンク	FRP製一体形(保温型):100L		1	
EXT		570W×570L×610H			
<u>1</u> 新設】		マンホール、鋼製架台:H=1,500(溶融亜鉛メッキ)共			
	 温水ポンプ	片吸込渦巻形 屋外設置(耐塩仕様)	3 ¢ × 200V	1	設置場所:ボイラー室
HP 1 新設】		50×150L/min×14m	1. 5kw		※既設RC基礎再利用
初	オイルポンプ	A重油用 渦流形 (安全増防爆型)	3 φ × 200V	1	
OP			0. 4kw		
<u>1</u> 新設】					※既設RC基礎再利用
	熱交換器	チタン製プレート式 交換熱量:34kW		1	設置場所:ポンプ室
PH		温水側:97L/min(60~55°C) 圧力損失:0.011MPa			
		海水側:167L/min(10~13℃) 圧力損失:0.034MPa			※既設RC基礎再利用
	熱交換器	チタン製投込式(壁掛式) 交換熱量:4,000kcal/h		3	設置場所:排卵幼生管理室
PH \		温水側:13.4L/min(60~55℃) 圧力損失:0.1kg/cm2			
3		海水側:25°維持			

特記事項

※機器電源の接続は本工事(自動制御図参照)とする。

※既設RC基礎等に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施すること。

海水配管設備機器表 (改修後)

	紫外線殺菌装置	外照式、フッ素樹脂チューブ、屋内用壁掛形(SUS製)	1 φ × 200V	2	設置場所:ポンプ室
UV		処理流体:海水 処理容量:8m3/h 配管接続口:50A	0. 24kw		
		耐圧:0.29MPa 参考寸法:380W×280D×1300H			
【新設】					参考品番:FDL-2

特記事項

※機器電源の接続は電気設備工事とする。



一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 田村

【亲 Ē 【亲 Ē

記名

蓜

記

記

 $(100 \sim 150 \text{A})$

配管用架台一覧表 (改修後)

【新設】	小屋裏(海水加温設備配管用)									
記号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量						
1	Α	L 50 × 50 × 6	600	200	2						
2	Α	L 50 × 50 × 6	700	200	6						
3	A	L 50 × 50 × 6	200	450	1						
【新設】サザエ棟(海水・井水・エアー・井戸海水配管用)											
記号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量						
(4)	В	L 75 × 75 × 9	600	200	1						

<u> </u>	D		000	200	· ·
5	В	L 75 × 75 × 9	800	200	7
6	В	L 75 × 75 × 9	900	200	27
7	C	L 75 × 75 × 9	900	240	34
8)	D	\Box 100 × 50 × 5 × 7.5	-	200	12

【新設】ボイラー室(海水加温設備煙道用)

			/13/			
号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量	
9	F	L 65 × 65 × 6	200	450	4	

【新設】親貝養成室(海水・井水・エアー配管用)							
記号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量		
(10)	В	L 75 × 75 × 9	400	200	4		
(11)	В	L 75 × 75 × 9	800	200	14		

【新設】親貝養成室(井戸海水配管用)

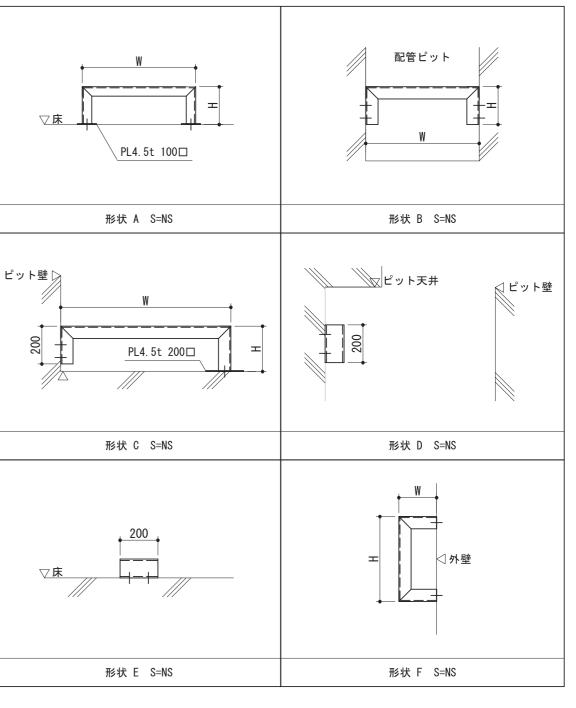
2号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量
12)	В	∟ 65 × 65 × 6	400	140	3
13	В	L 65 × 65 × 8	800	250	15

【新設】排卵・幼生管理室 (海水加温設備・海水・井水・エアー・井戸海水配管用)

(海水加温設備・海水・井水・エアー・井戸海水配官用)						
記号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量	
(14)	В	L 75 × 75 × 9	800	200	19	
【新設】	ポンプ室	(海水加温設備配管用)			

記号	形状	鋼材サイズ	W	Н	数量
15	E	$\Box 100 \times 50 \times 5 \times 7.5$	200	-	6

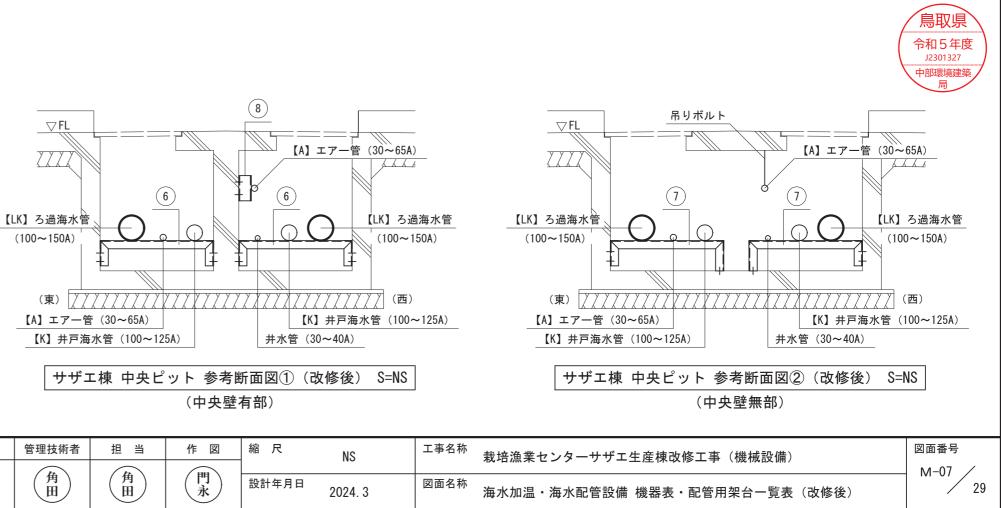
配管用架台 参考姿図 (改修後)



特記事項

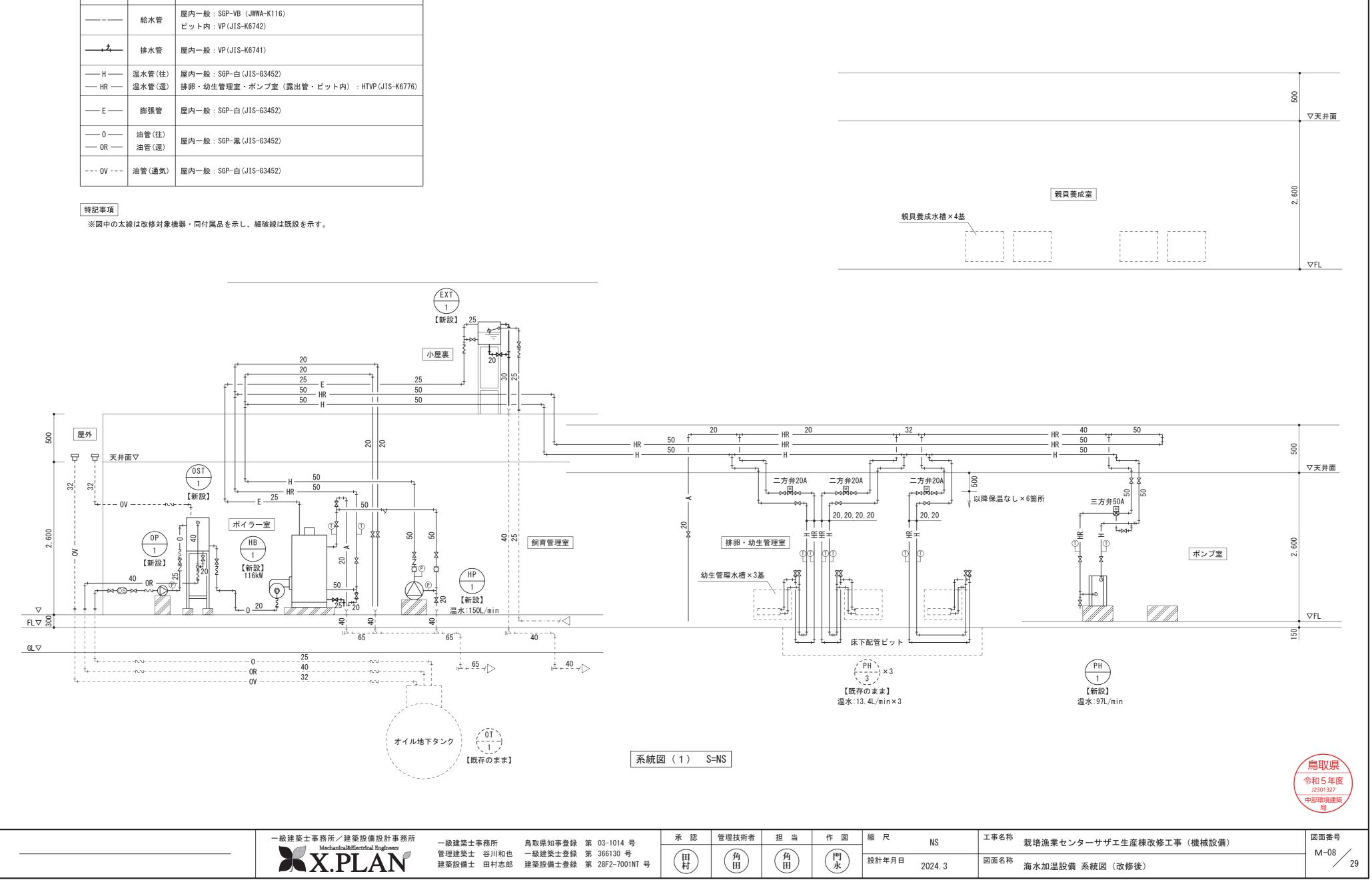
※架台寸法は参考とする。

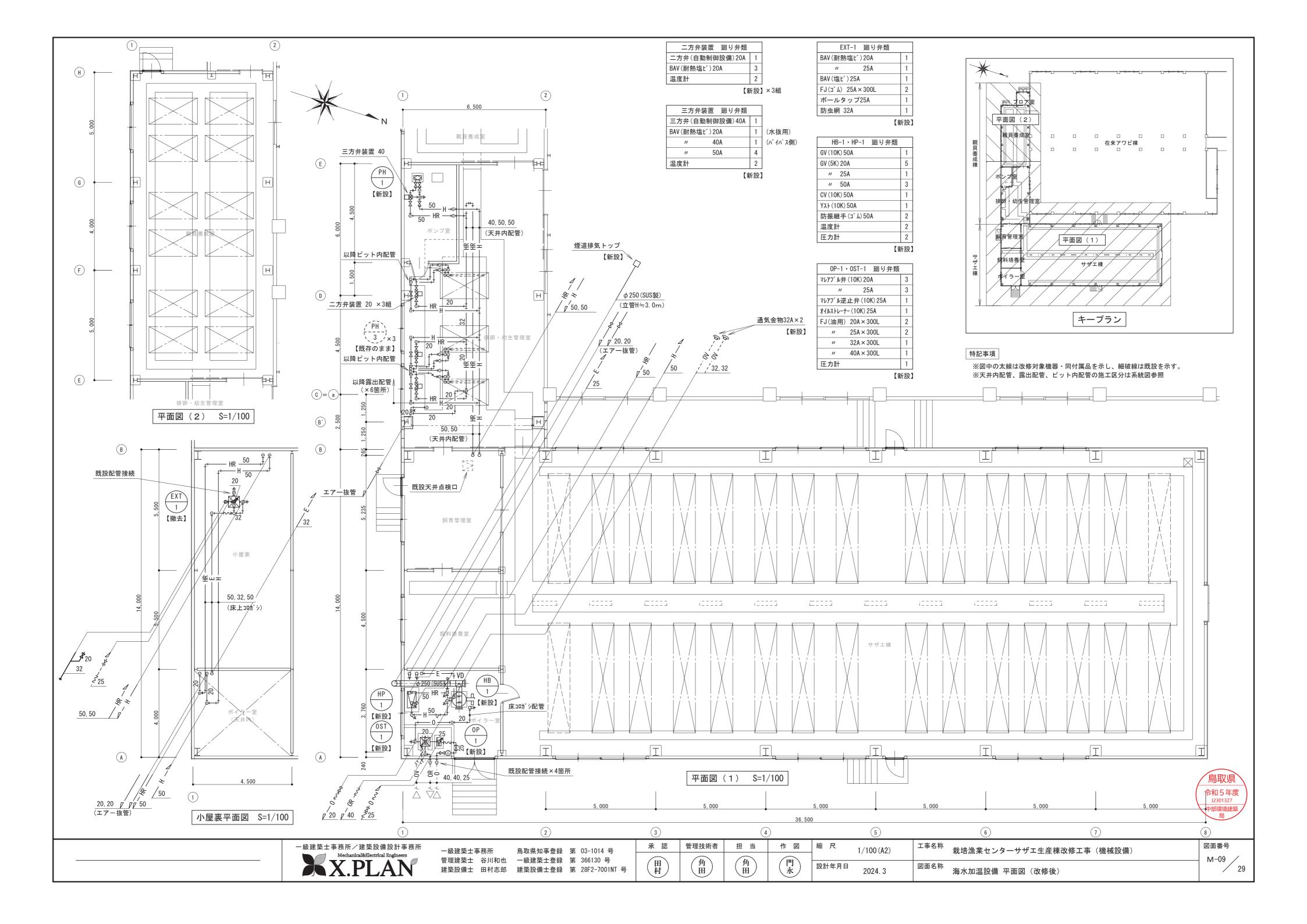
※塩害対策のため、架台加工後に溶融亜鉛メッキ塗装をすること。

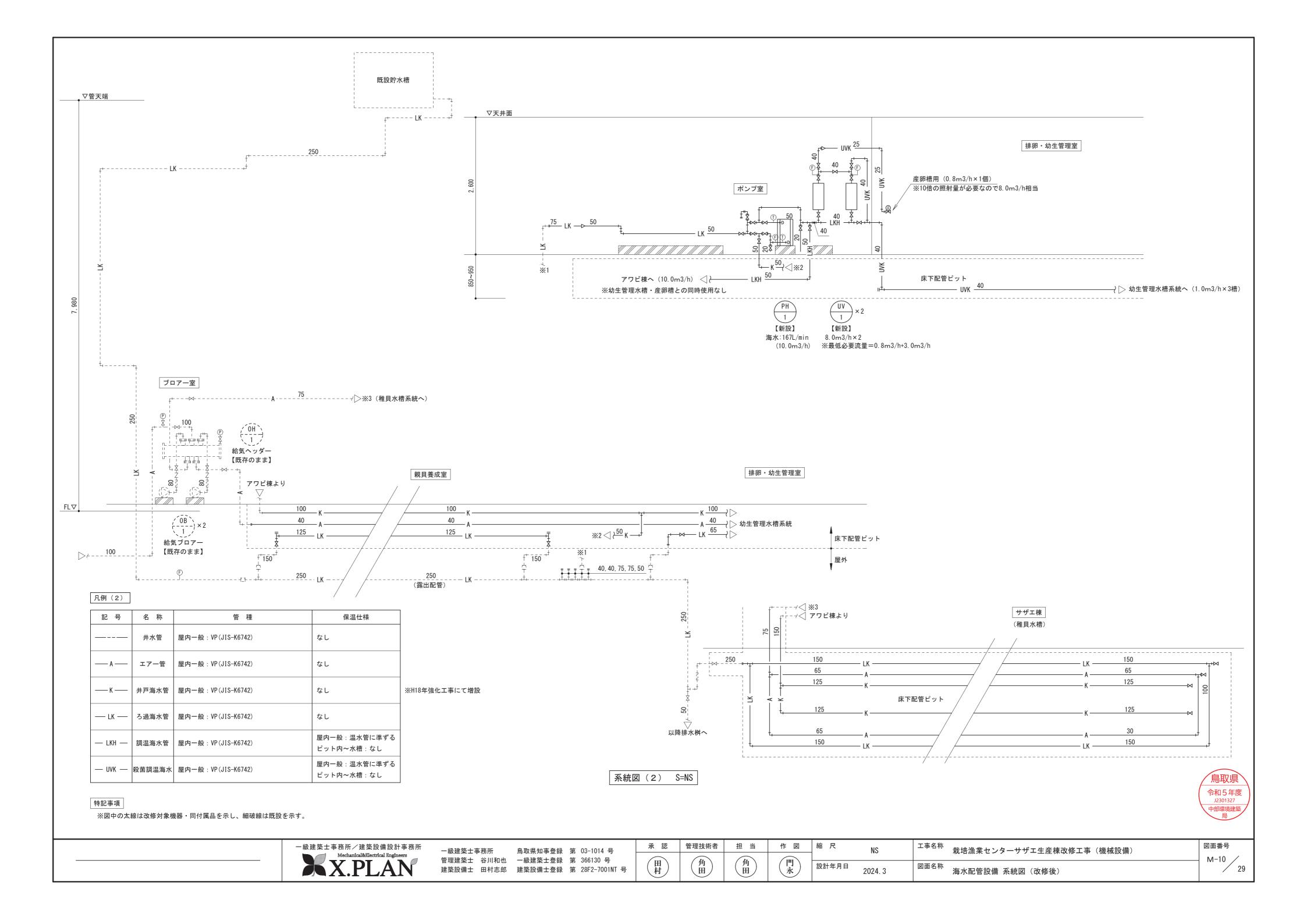


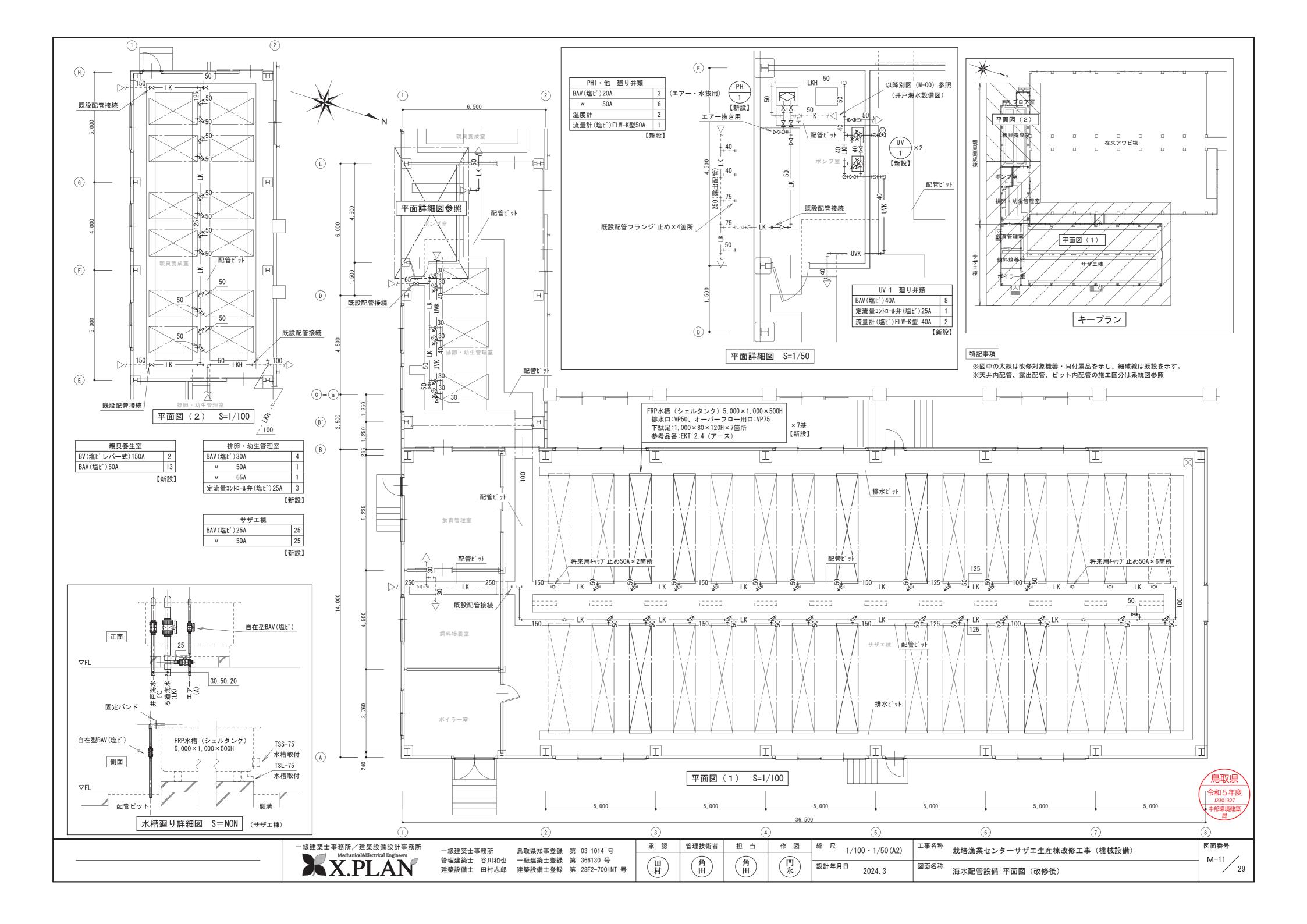
凡例(1)

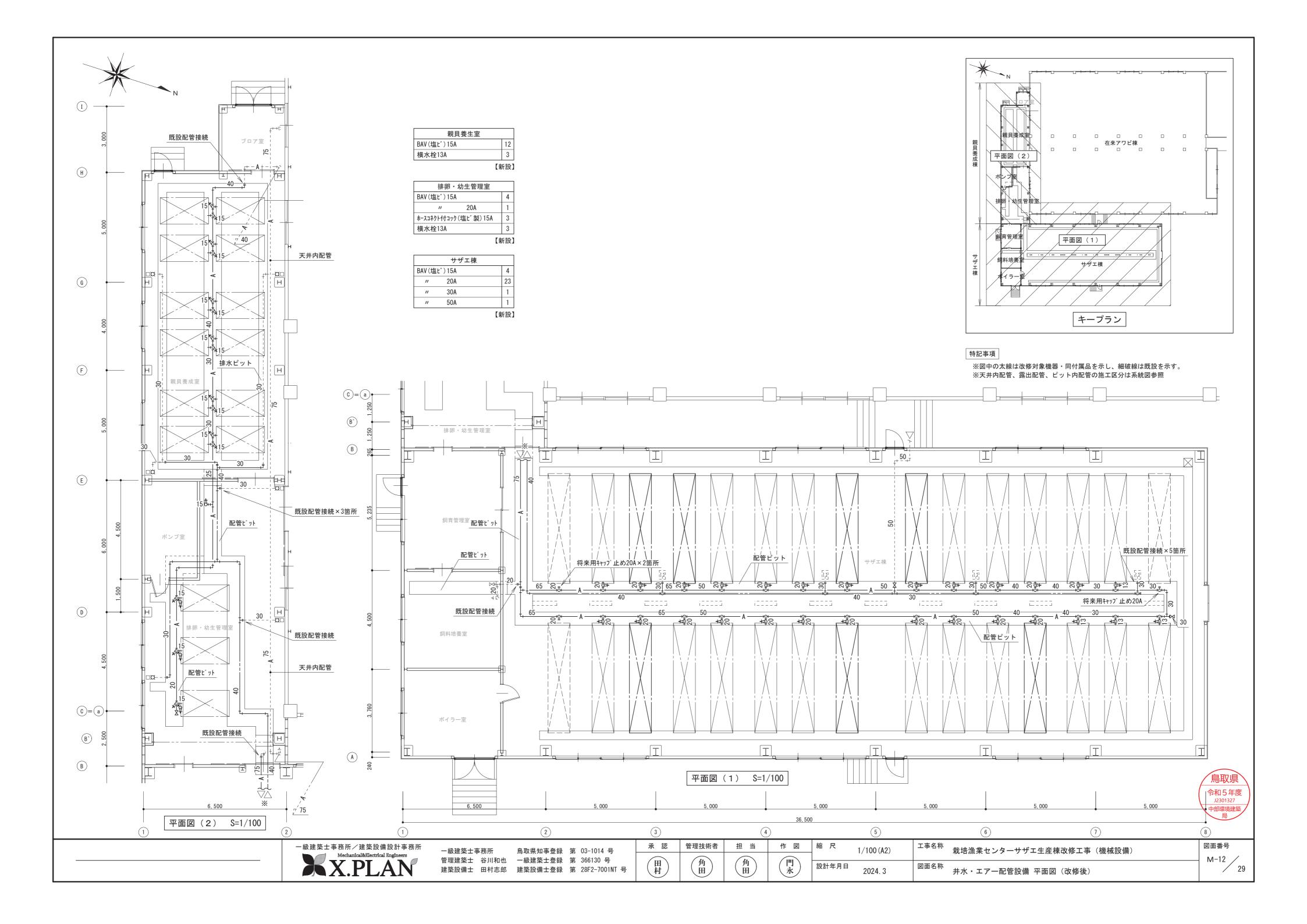
記号	名称	管種
	給水管	屋内一般:SGP-VB (JWWA-K116) ピット内:VP(JIS-K6742)
, t,	排水管	屋内一般:VP(JIS-K6741)
— н —	温水管(往)	屋内一般:SGP-白(JIS-G3452)
— HR —	温水管(還)	排卵・幼生管理室・ポンプ室(露出管・ピット内) : HTVP(JIS-K6776)
— E —	膨張管	屋内一般:SGP-白(JIS-G3452)
0 — 0 — OR —	油管(往) 油管(還)	屋内一般 : SGP-黒(JIS-G3452)
0V	油管(通気)	屋内一般:SGP-白(JIS-G3452)

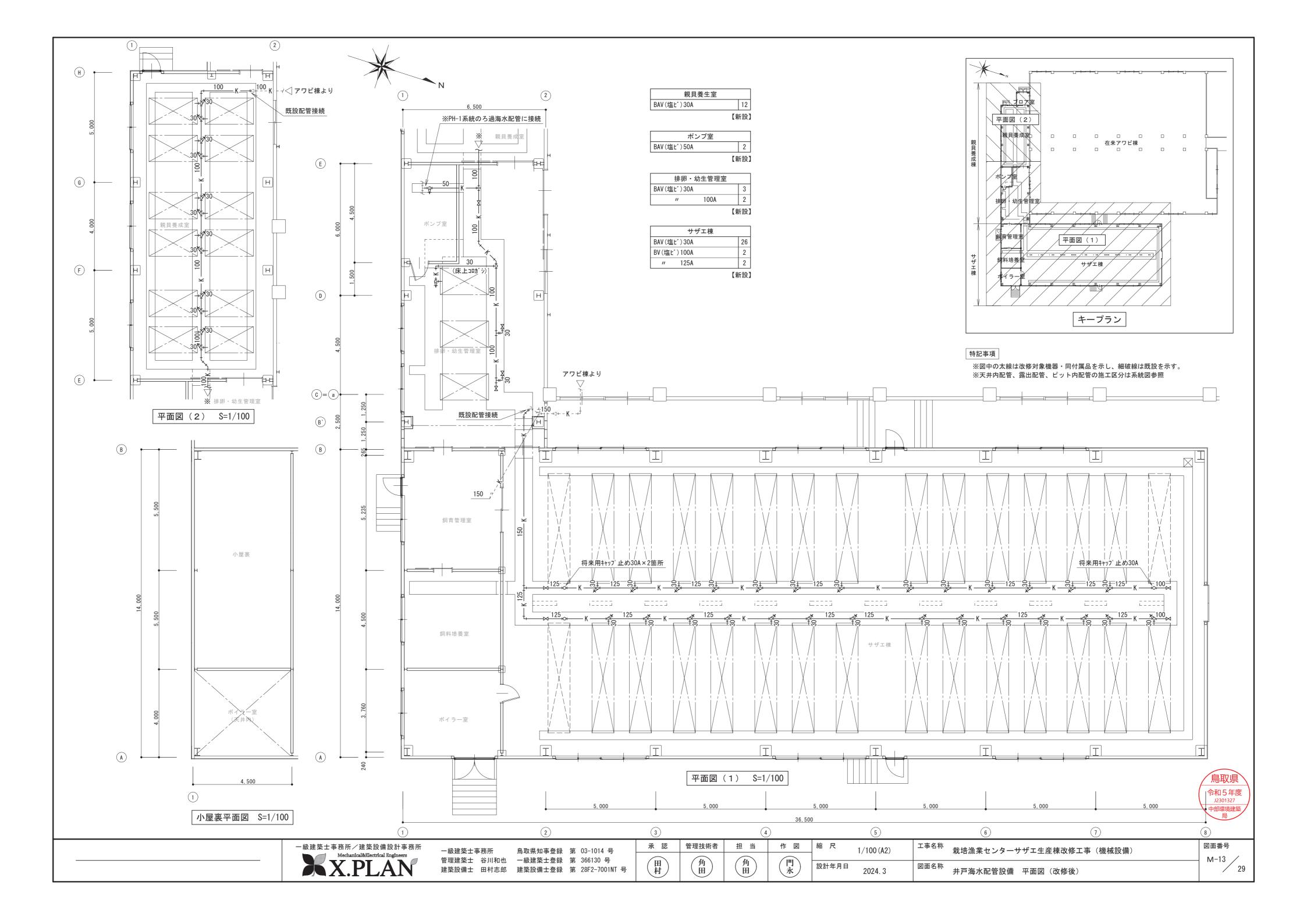


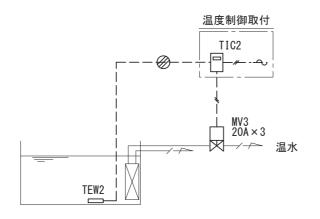






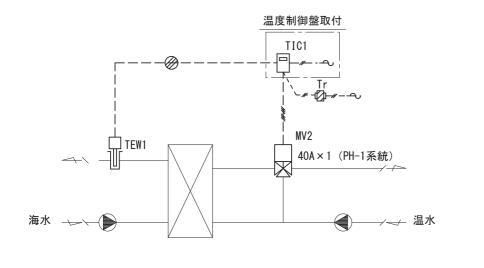




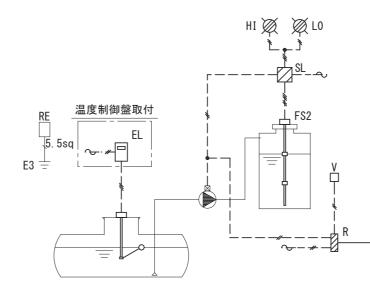


幼生管理飼育槽 3組

水槽温度制御 3組 ※更新



熱交換器制御 1組 P-2 ※更新



 オイル制御 1組
 P-1

 ※機械室内更新
 14



自動制御機器表

記号	名称	型 番	数量	備考	
TEW1	白金測温抵抗体		1	W/保護管(チタン)	【新設】
TIC1	デジタル指示調節器		1	位置比例式	【新設】
Tr	トランス		1		【新設】
MV2	電動三方ボール弁40A		1		【新設】
					【新設】
					【新設】
TEW2	白金測温抵抗体		3	投げ込み式 リート線10m付(チタン)	【新設】
TIC2	デジタル指示調節器		3	ON-OFF式	【新設】
MV3	電動ボ−ル弁20A		3	(耐熱塩ビ)	【新設】
EL	油面指示装置		1		【新設】
SL	油面制御装置		1	W/FS2(塩ビ)	【新設】
R	補助ルー		1		【新設】
RE	ローリーアース		1		【既存のまま】
V	感電装置		1	ボイラー付属品	【新設】

→ボイラ停止

凡例

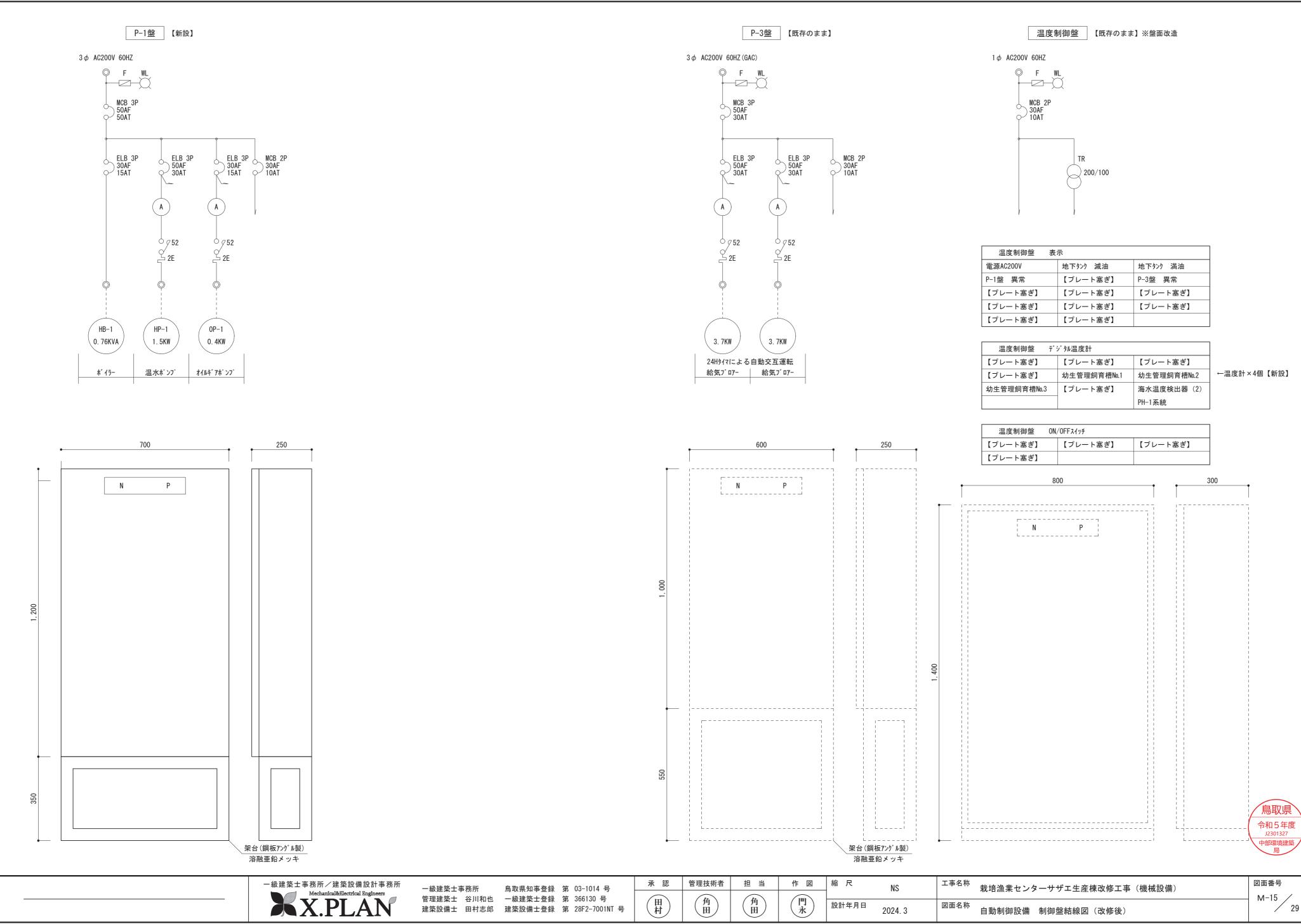
- → - IV1.25sqは2sq相当を示す。斜線は本数。

─ — ● – 制御用シールドケーブルを示す。斜線は本数。

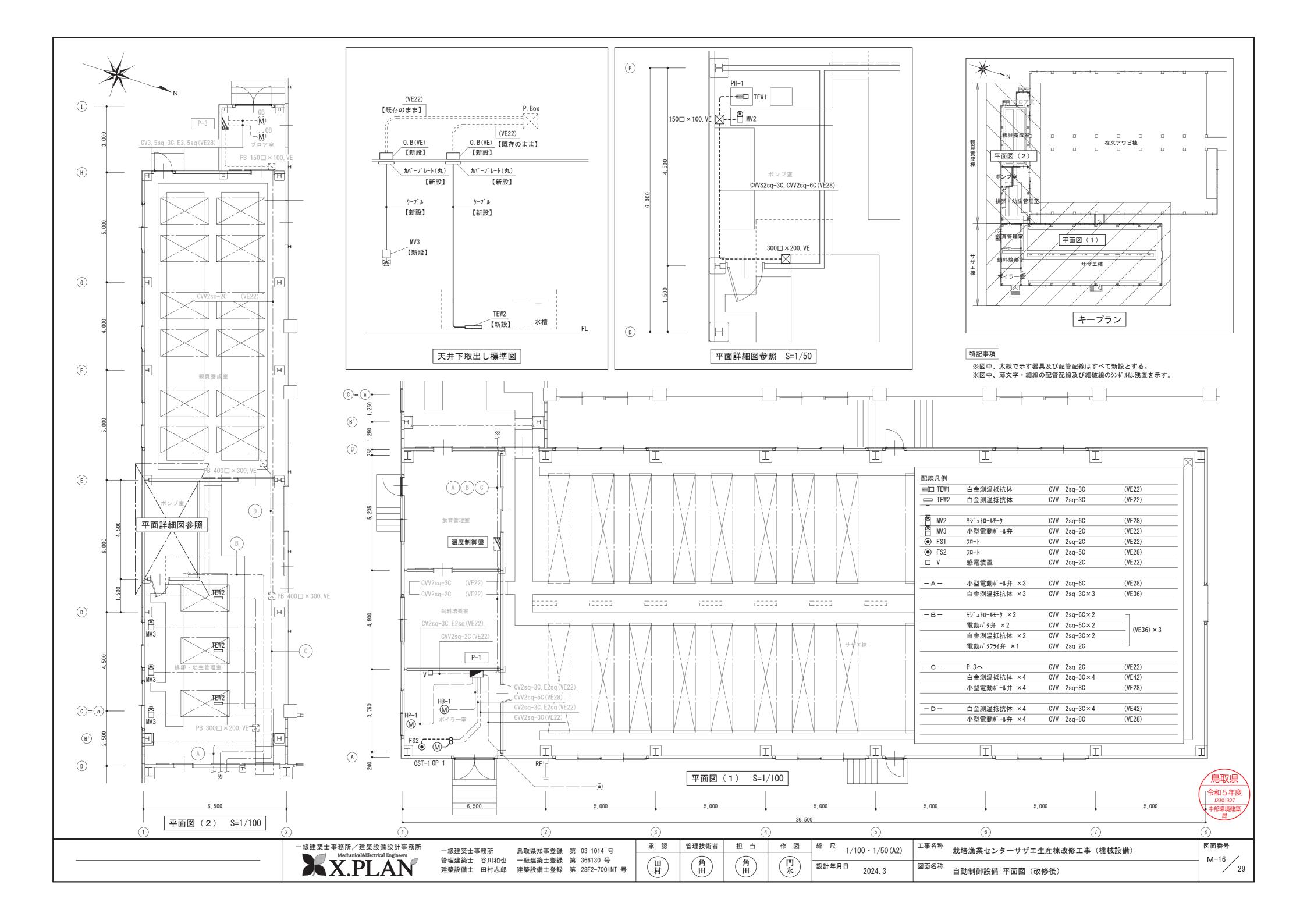
〜 1¢AC200V又は100Vを示す。



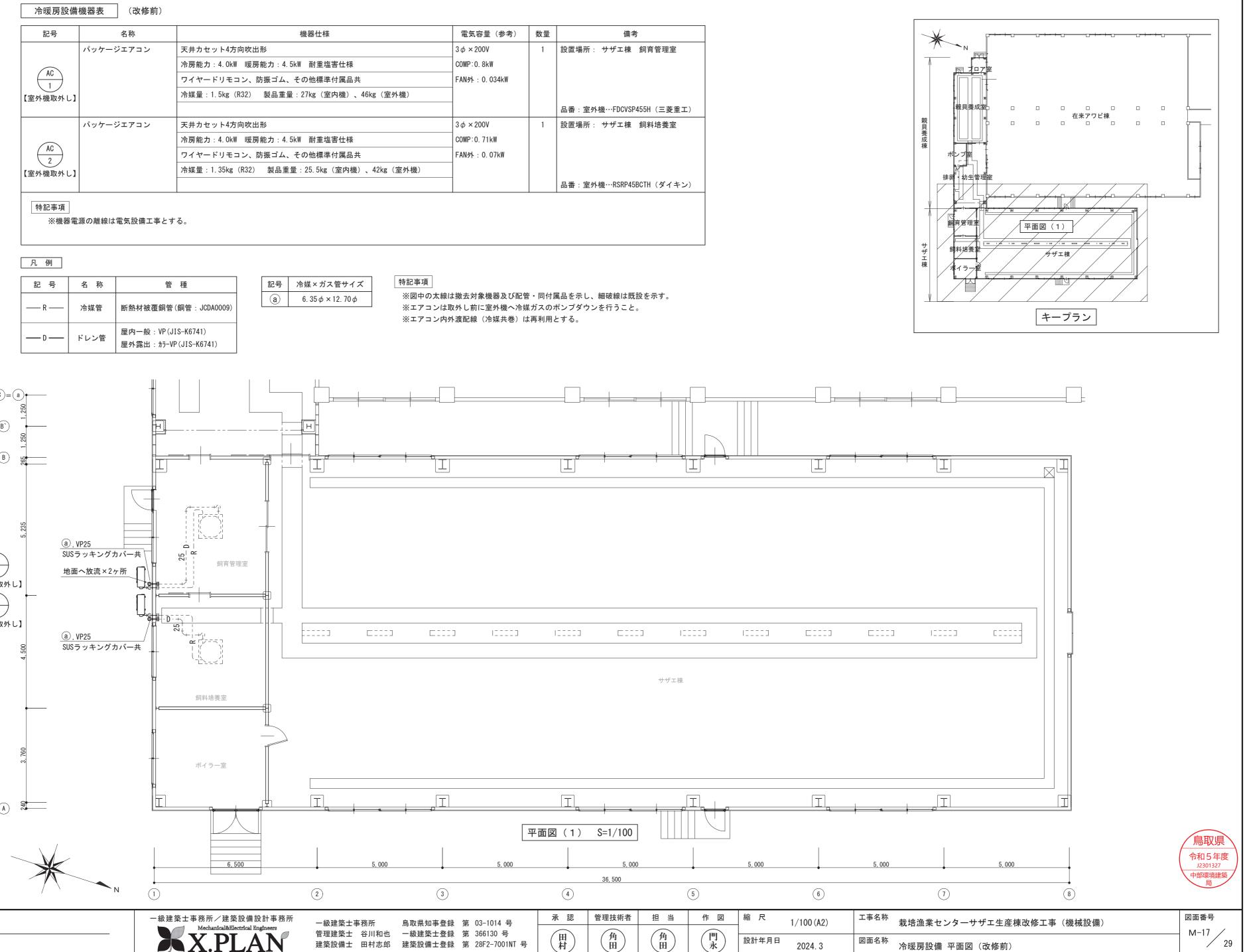
管理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号	
角	角	門	 設計年月日		図面名称		M-14 29	
		水		2024. 3		自動制御設備 制御系統図・制御機器表(改修後)	/ 29	

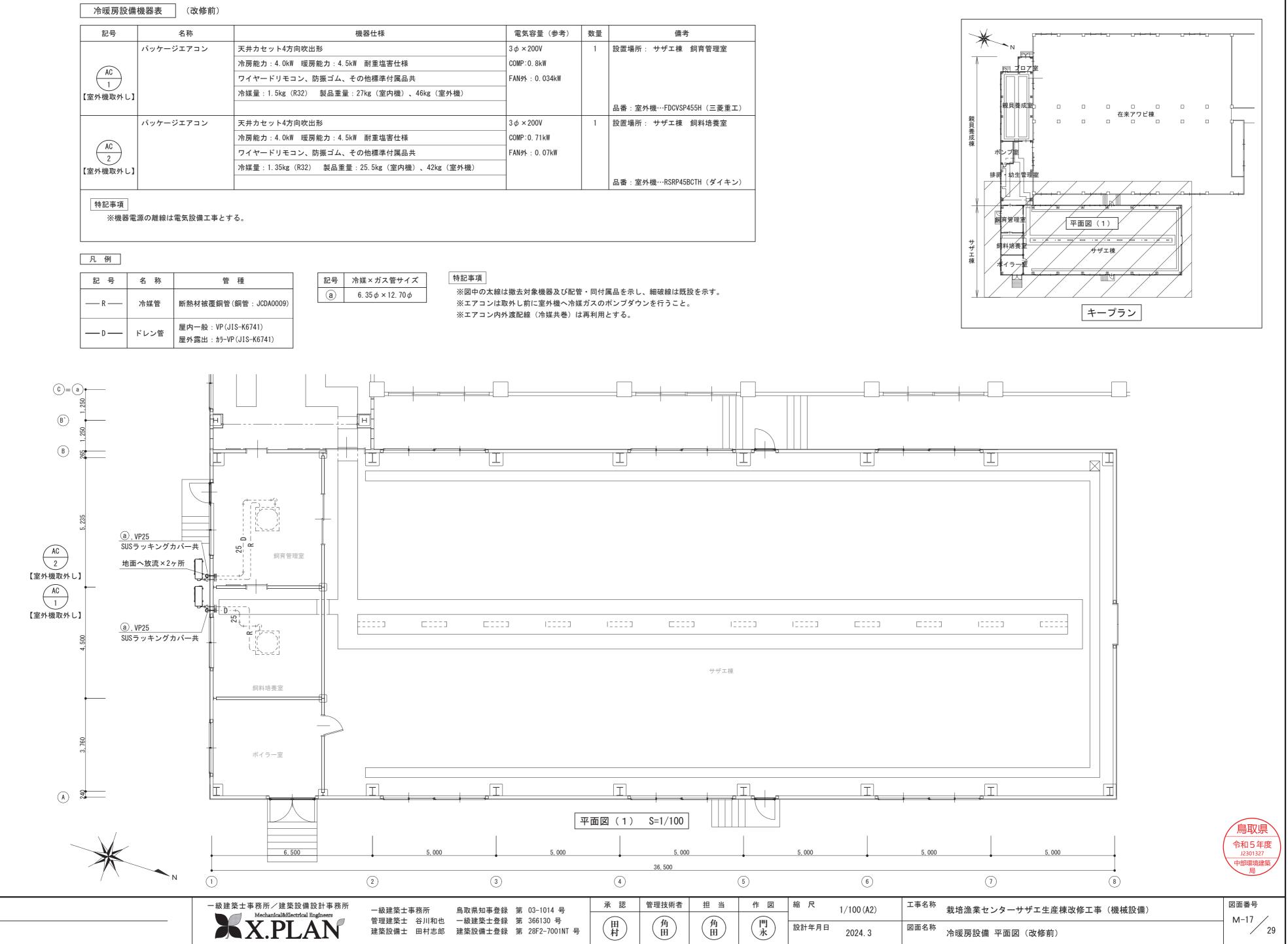


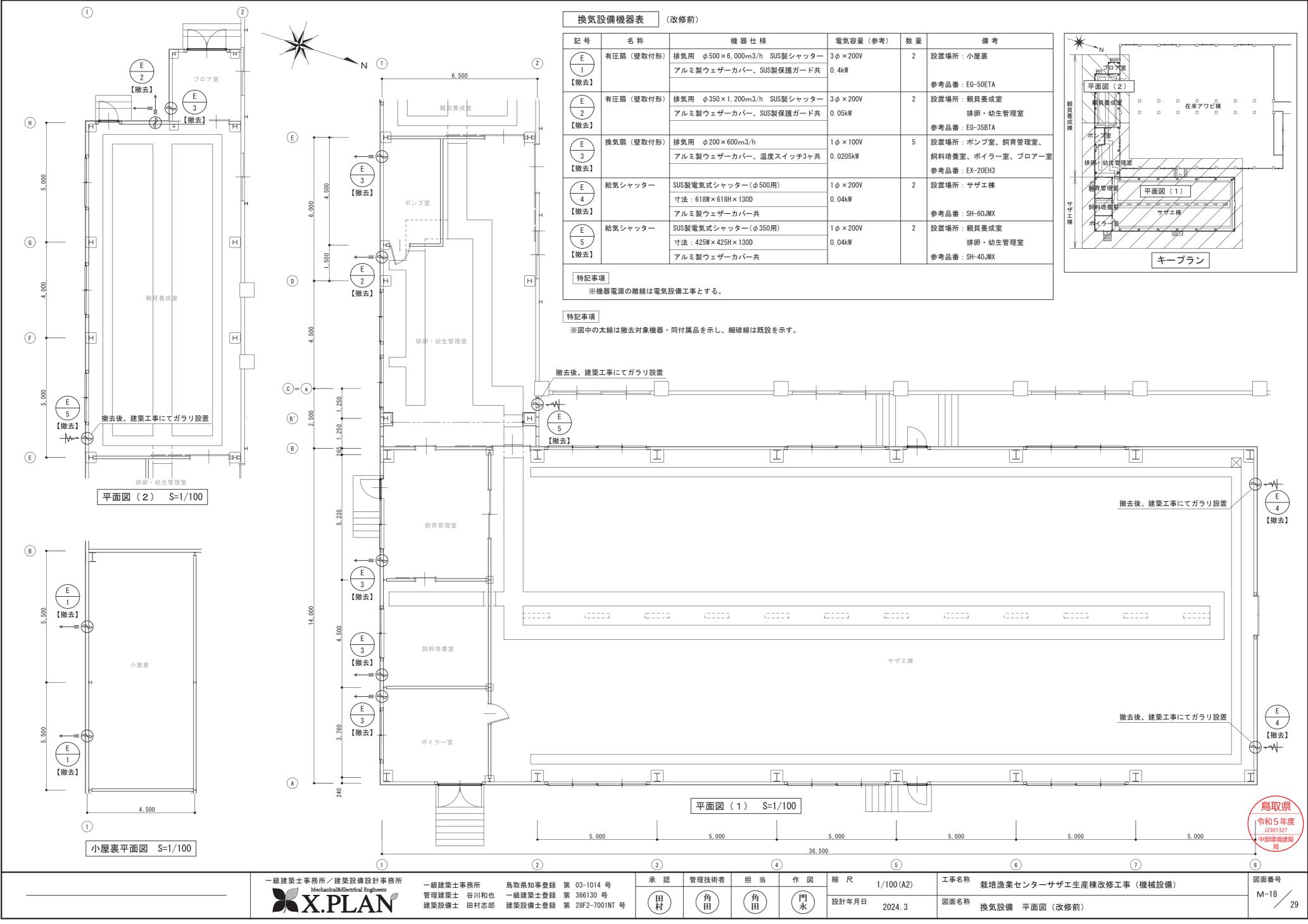
管理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号	
							M-15 /	
角田	角田	(門 永	設計年月日	2024. 3	図面名称	自動制御設備 制御盤結線図(改修後)	29	



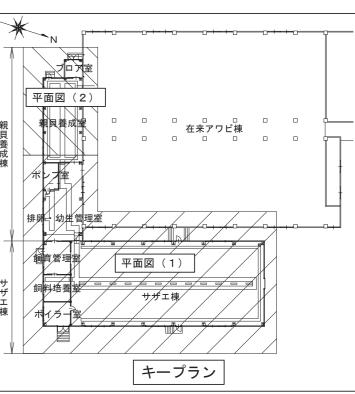
記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	数量	
	パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所: サ
		冷房能力:4.0kW 暖房能力:4.5kW 耐重塩害仕様	COMP:0.8kW		
$\left(\begin{array}{c} AC \\ 1 \end{array}\right)$		ワイヤードリモコン、防振ゴム、その他標準付属品共	FAN外: 0.034kW		
 室外機取外し】		冷媒量:1.5kg(R32) 製品重量:27kg(室内機)、46kg(室外機)			
					品番:室外機
	パッケージエアコン	天井カセット4方向吹出形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所: サ
		冷房能力:4.0kW 暖房能力:4.5kW 耐重塩害仕様	COMP:0.71kW		
$\left(\begin{array}{c} AC\\ 2\end{array}\right)$		ワイヤードリモコン、防振ゴム、その他標準付属品共	FAN外: 0.07kW		
「室外機取外し】		冷媒量:1.35kg(R32) 製品重量:25.5kg(室内機)、42kg(室外機)			
					│ │品番:室外機·







機器仕様	電気容量(参考)	数量	備考	K	
用 φ500×6,000m3/h SUS製シャッター	3 φ × 200V	2	設置場所:小屋裏	1	
ミ製ウェザーカバー、SUS製保護ガード共	0.4kW				
			参考品番:EG-50ETA		平面図(2)
用 φ350×1,200m3/h SUS製シャッター	$3\phi \times 200V$	2	設置場所:親貝養成室	親	親貝養成室
ミ製ウェザーカバー、SUS製保護ガード共	0.05kW		排卵・幼生管理室	親貝養成棟	
			参考品番:EG-35BTA	成 棟	
用 φ200×600m3/h	1φ×100V	5	設置場所:ポンプ室、飼育管理室、		
ミ製ウェザーカバー、温度スイッチ3ヶ共	0. 0205kW		飼料培養室、ボイラー室、ブロアー室		排卵幼生管理室
			参考品番:EX-20EH3	V	
!電気式シャッター(φ500用)	1 φ × 200V	2	設置場所:サザエ棟	A	10月常理室 平面
: 618W×618H×130D	0.04kW			+	□ □ □ □ □ □
ミ製ウェザーカバー共			参考品番:SH-60JMX	サザエ	
!電気式シャッター(¢350用)	1 φ × 200V	2	設置場所:親貝養成室	棟	
: 425W × 425H × 130D	0.04kW		排卵・幼生管理室	V	
ミ製ウェザーカバー共			参考品番:SH-40JMX		



記号	名 称	機器仕様	電気容量 (参考)	数 量	備考
	温水用ボイラー	低圧立形	3 ¢ × 200V	1	設置場所:ボイラー室
HB		出力:160,000kcal/h A重油楚:22.0L/h	バーナ : 0.38kw		
1		伝熱面積:2.9m2 缶水容量:160L	着火トランス:0.40KVA		※既設RC基礎再利用
【撤去】			オイルフ゜レヒーター : 0. 25KVA		品番:SK-1600M
	オイルサービスタンク	角型:100L 鋼板製:3.2t 450W×400D×600H		1	設置場所:ボイラー室
OST		レベルゲージ、転倒防止金具、点検口付、タラップ			
 【撤去】		鋼製架台:H=1,200(溶融亜鉛メッキ)共			※既設RC基礎再利用
	膨張タンク	FRP製一体形(保温型):100L		1	設置場所:小屋裏
EXT		570W × 570L × 610H			
1		マンホール、鋼製架台:H=1,500(溶融亜鉛メッキ)共			
【撤去】					品番:FAW-100
	温水ポンプ	片吸込渦巻形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所:ボイラー室
HP		$65 \times 530 L/min \times 14m$	2. 2kw		
1					※既設RC基礎再利用
【撤去】					品番:GEK-65×506-4MN2.
	オイルポンプ	A重油用 渦流形	$3\phi \times 200V$	1	設置場所:ボイラー室
OP		25×20L/min×3m (吸込-0.5kgf/cm2)	0. 4kw		
					※既設RC基礎再利用
【撤去】					品番:0C-256-M0.4
	熱交換器	チタン製プレート式 交換熱量:67,000kcal/h		1	設置場所:ポンプ室
PH		温水側:223L/min(60~55℃) 圧力損失:0.2kg/cm2			
		海水側:350L/min(10~13℃) 圧力損失:0.6kg/cm2			※既設RC基礎再利用
【撤去】					品番:LX-226-NJ-7
	熱交換器	チタン製プレート式 交換熱量:42,000kcal/h		1	設置場所:ポンプ室
PH		温水側:140L/min(60~55℃) 圧力損失:0.2kg/cm2			
2		海水側: 67L/min (10~20℃) 圧力損失:0.1kg/cm2			
【撤去】					品番:LX-226-NJ-5
	熱交換器	チタン製投込式(壁掛式) 交換熱量:4,000kcal/h		3	設置場所:排卵幼生管理室
PH \		温水側:13.4L/min (60~55℃) 圧力損失:0.1kg/cm2			
3 /		海水側:25°維持			

特記事項

※機器電源の離線は本工事(自動制御図参照)とする。

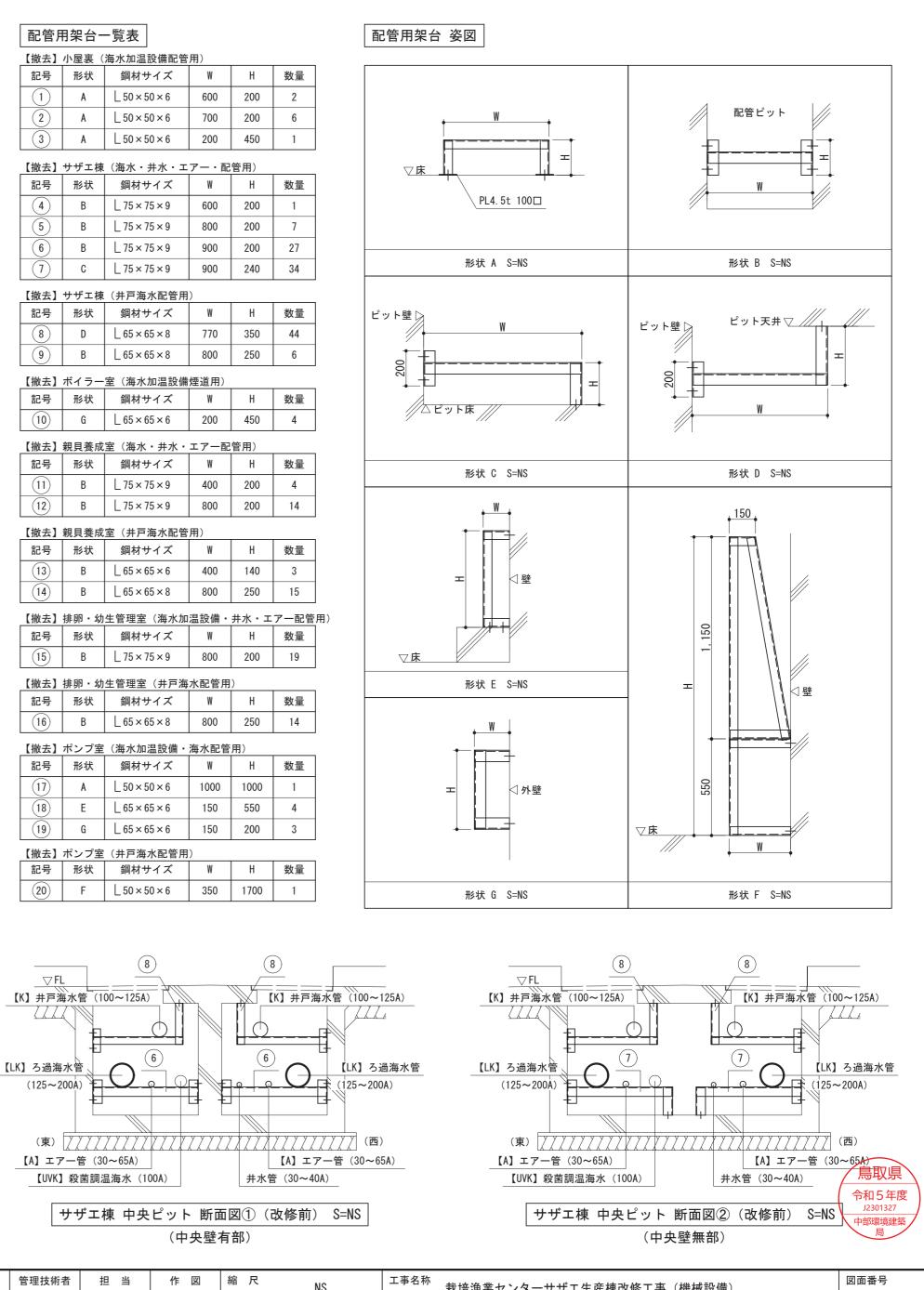
海水配管設備機器表 (改修前)

	海水ポンプ	海水用片吸込渦巻形(ナイロンコーティング仕様)	$3\phi \times 200V$	1	設置場所:ポンプ室
KP 1		$50 \times 40 \times 350$ L/min × 15m	1.5kw		
【撤去】					品番:KN-50×406-CN1.5
	海水ポンプ	海水用(プラスチック製)	$3\phi \times 200V$	1	設置場所:ポンプ室
KP 2		$40 \times 67 L/min \times 4m$	0. 4kw		
【撤去】					品番:GSP-406-MN0.4T
	紫外線殺菌装置	外照式、フッ素樹脂チューブ、屋内外兼用壁掛形	$1 \phi \times 100 V$	6	設置場所:排卵·幼生管理室
UV		処理流体:海水 処理容量:7m3/h 配管接続口:25A	0.09kw		
1		本体寸法:185W×185D×1200H			
【撤去】		電源盤寸法:140W×150D×575H			品番:1H

一級建築士事務所/建築設備設計事務所 Mechanical@Electrical Engineers X.PLAN

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 谷川和也 一級建築士登録 第 366130 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認 管理 田村

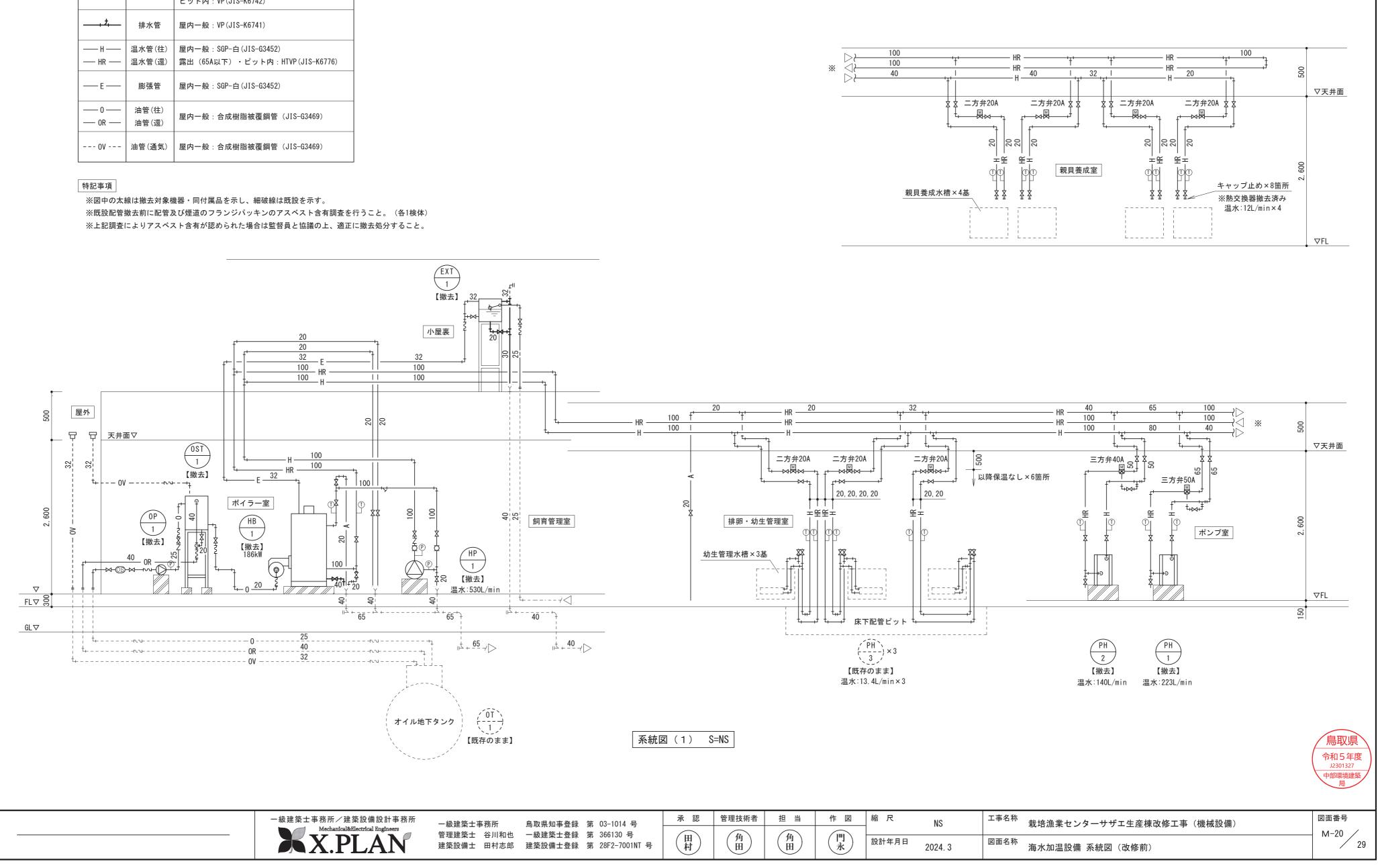


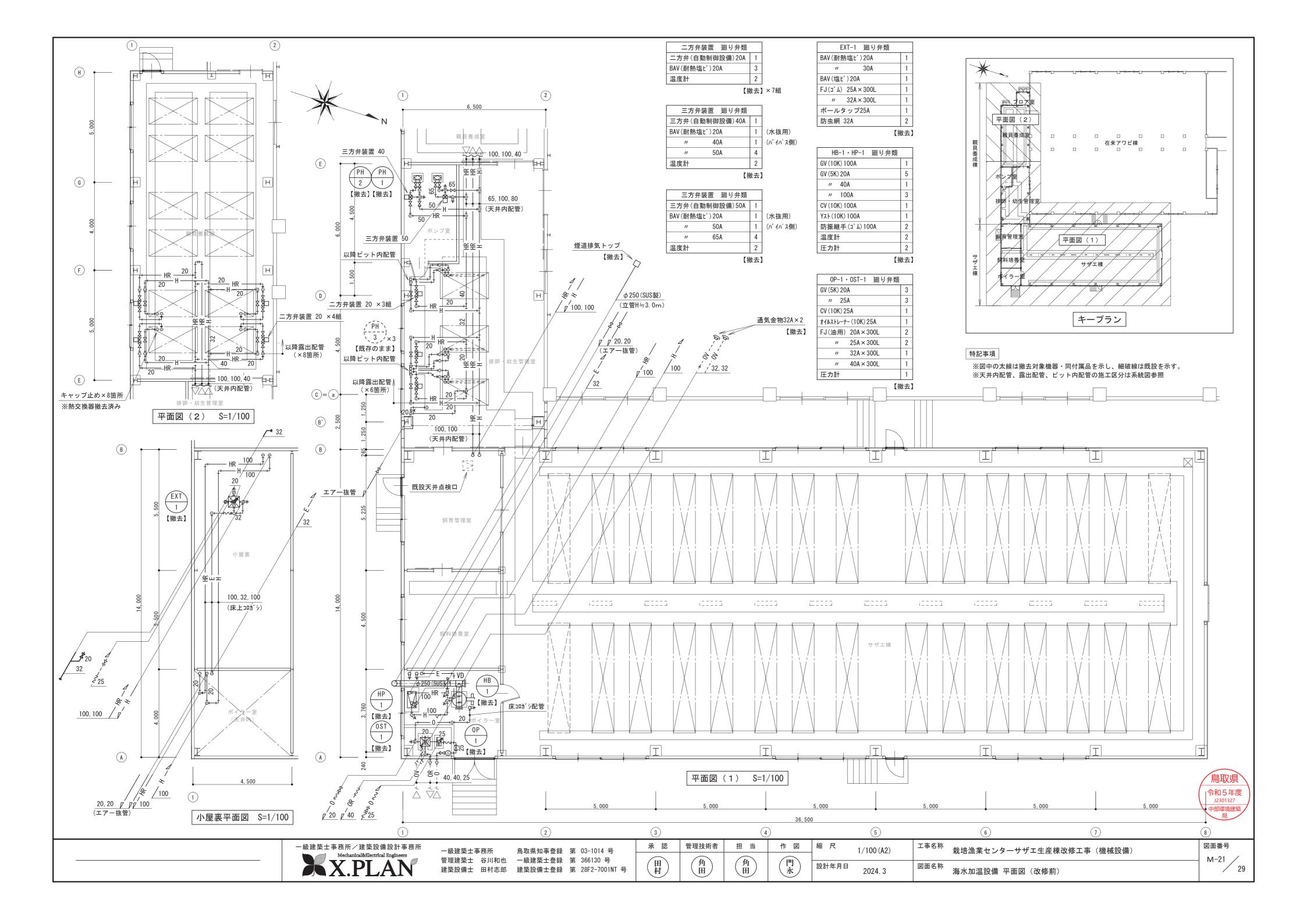
理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号
(h)	(h)	(HII)		110			M-19 /
角田	角田	(門)	設計年月日	2024. 3	図面名称	海水加温・海水配管設備 機器表・配管用架台一覧表(改修前)	29

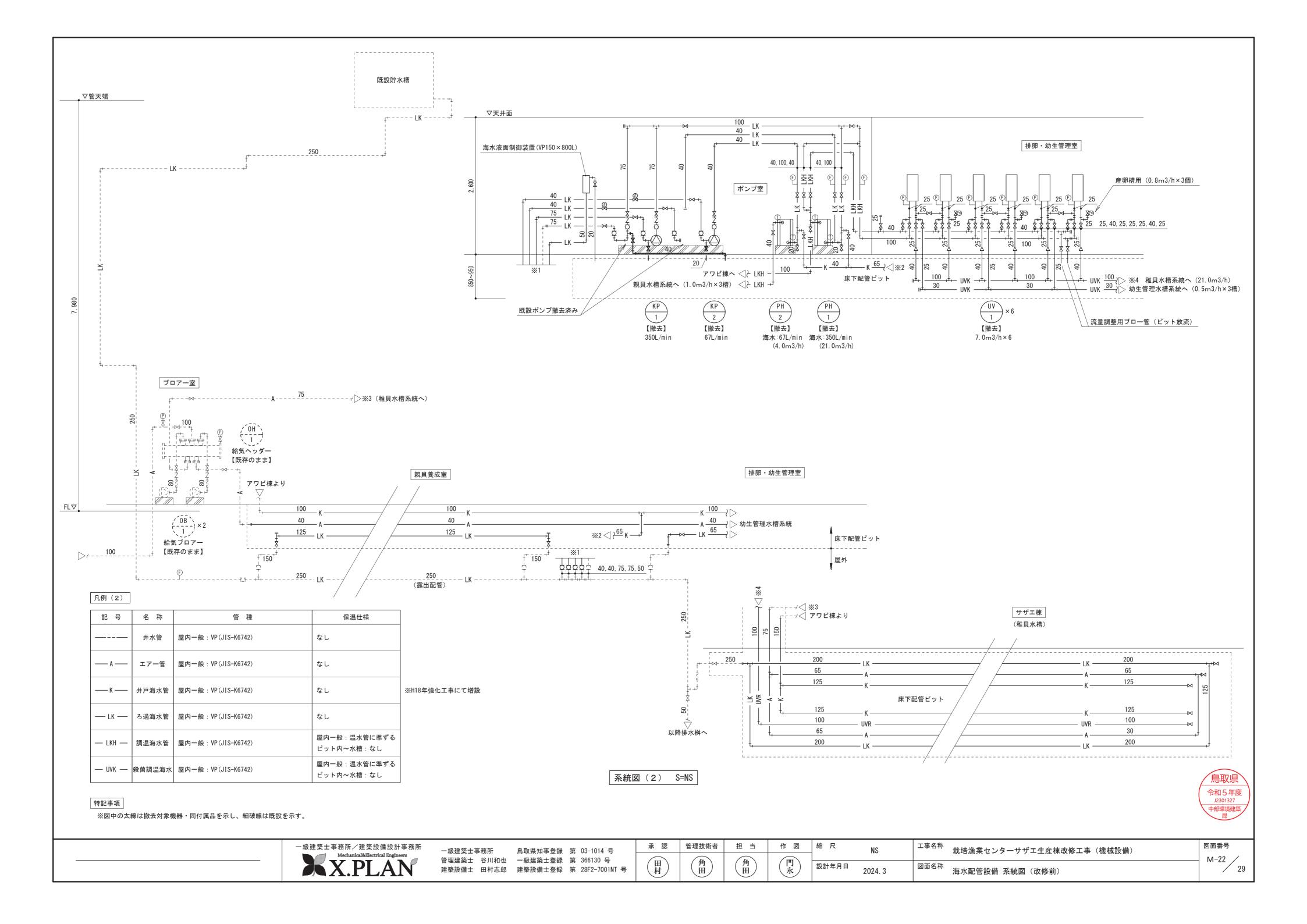
凡例(1)

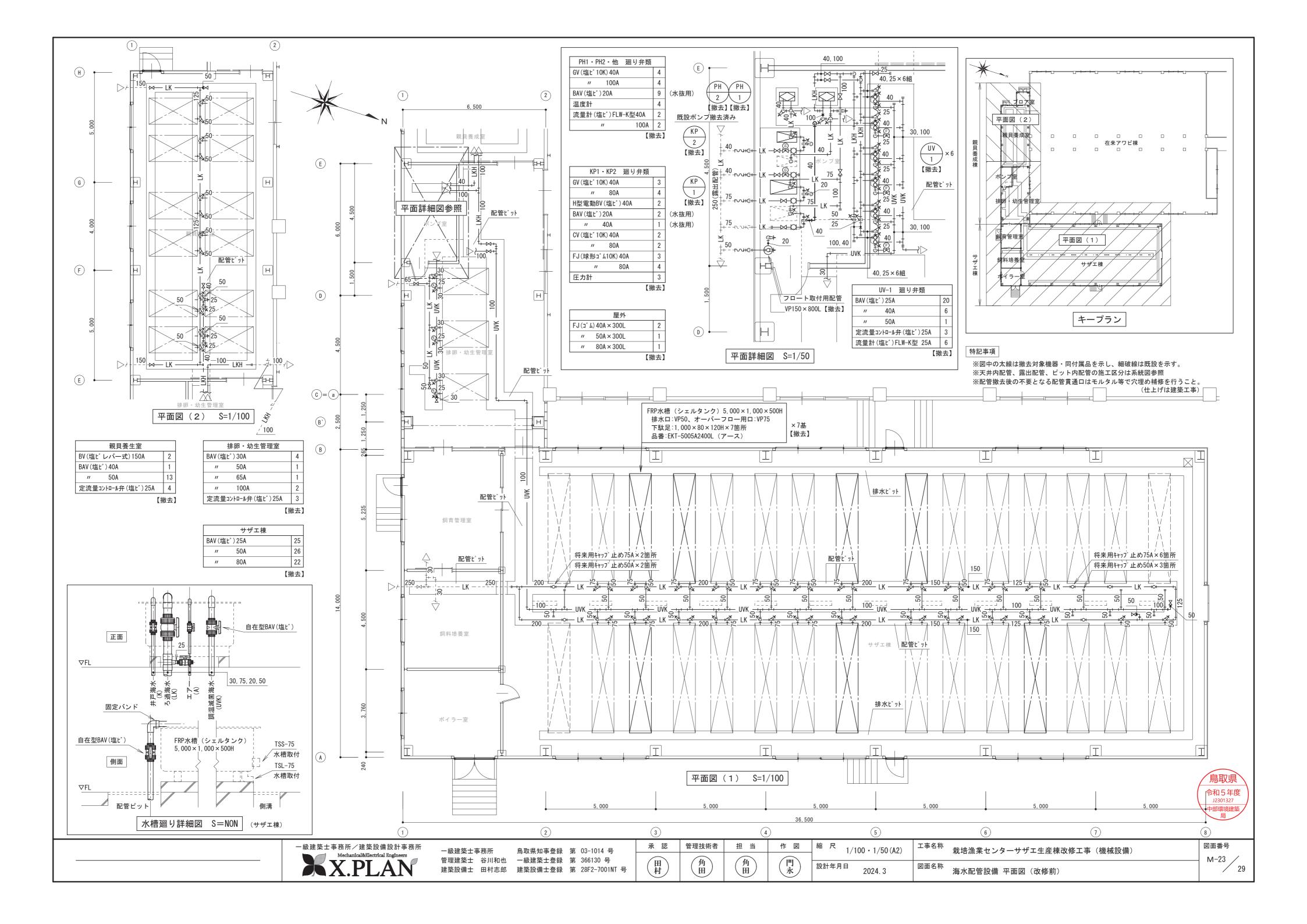
記号	名称	管種
	給水管	屋内一般:SGP-VB (JWWA-K116) ピット内:VP(JIS-K6742)
, t,	排水管	屋内一般:VP(JIS-K6741)
— н —	温水管(往)	屋内一般:SGP-白(JIS-G3452)
HR	温水管(還)	露出(65A以下)・ピット内:HTVP(JIS-K6776)
—— E ——	膨張管	屋内一般 : SGP-白(JIS-G3452)
0	油管(往)	
— OR —	油管(還)	屋内一般:合成樹脂被覆鋼管(JIS-G3469)
0V	油管(通気)	屋内一般:合成樹脂被覆鋼管(JIS-G3469)

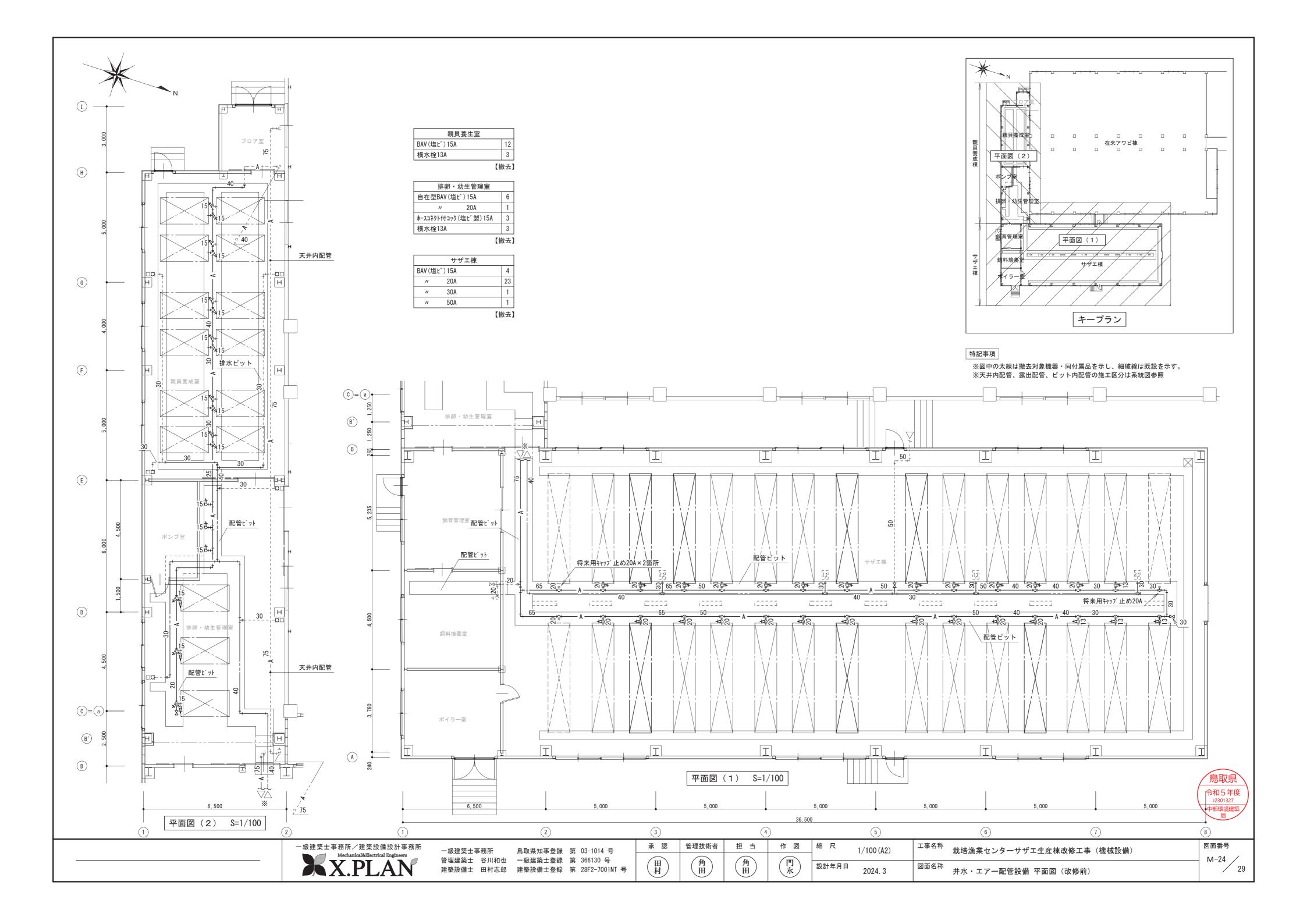
※図中の太線は撤去対象機器・同付属品を示し、細破線は既設を示す。

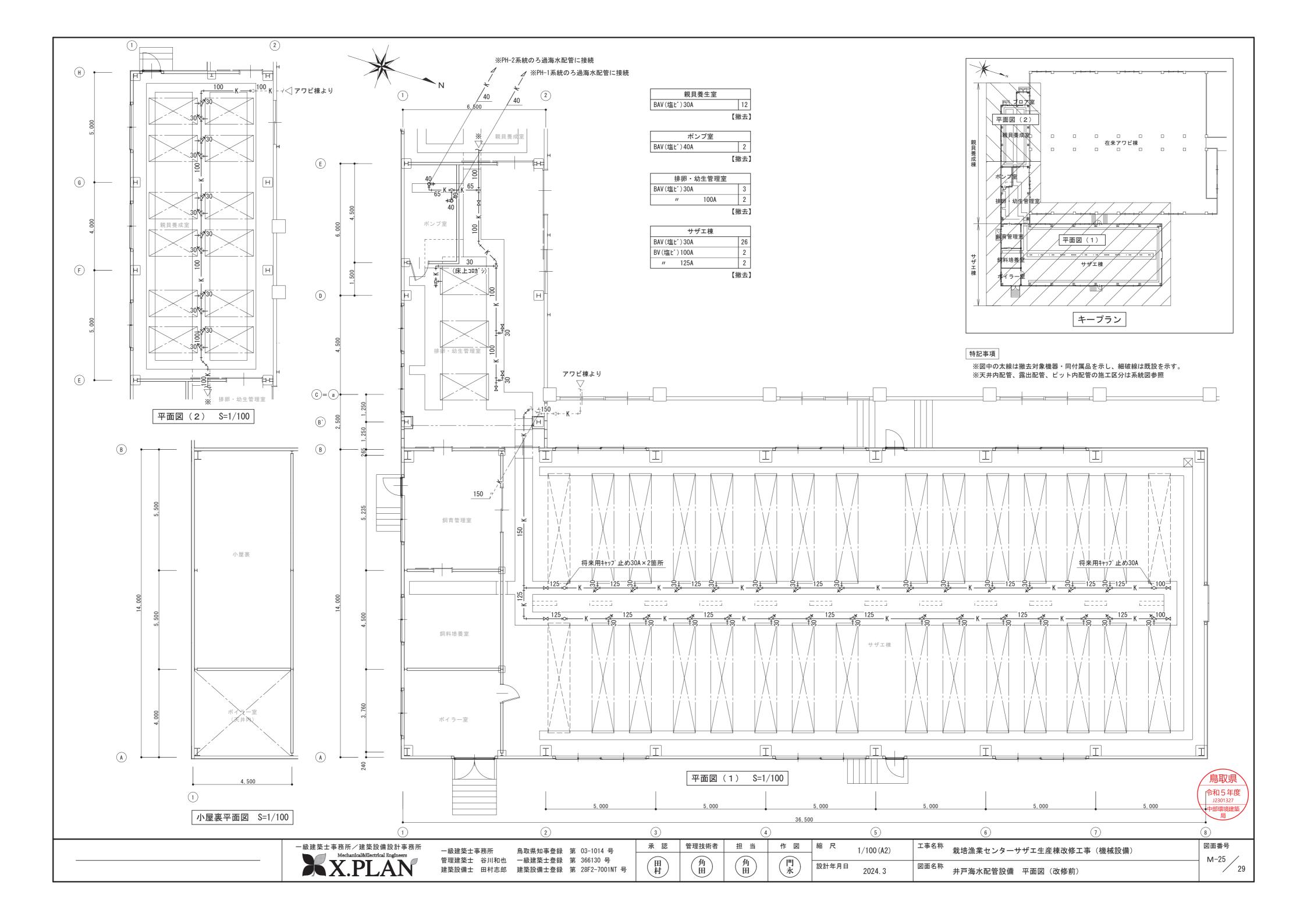


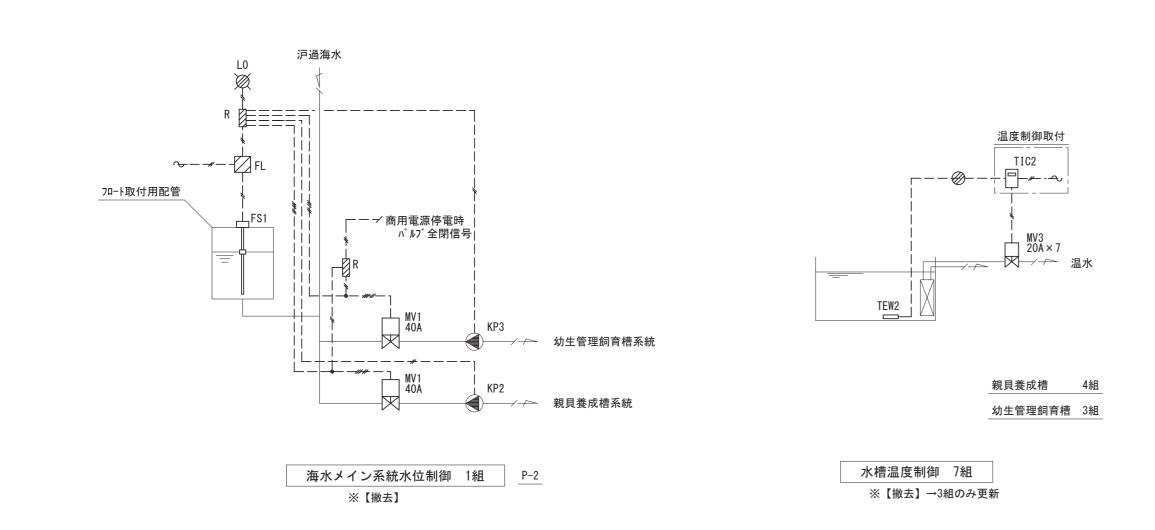


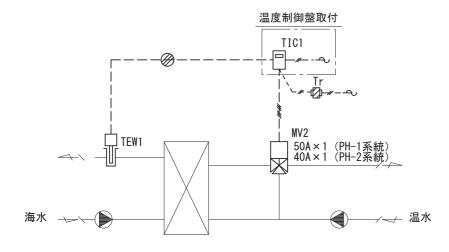


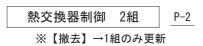


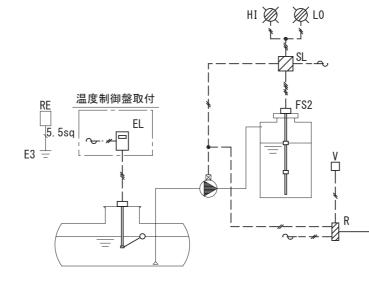












オイル制御 1組 <u>P-1</u> ※機械室内【撤去】→更新



自動制御機器表

記号	名称	型 番	数量	備考	
FL	液面制御装置	SL-12	1	W/FS1(塩ビ)	【撤去】
MV1	電動バタ弁40A	H型	2	(塩ビ製)	【撤去】
TEW1	白金測温抵抗体		2	W/保護管(チタン)	【撤去】
TIC1	デジタル指示調節器	SDC200	2	位置比例式	【撤去】
Tr	k5>x	NT-1	2		【撤去】
MV2	モシ゛ュトロールモータ	M904F	2		【撤去】
	弁リンケージ	Q455C	2		【撤去】
	三方弁	V5065A	2		【撤去】
TEW2	白金測温抵抗体		7	投げ込み式 リート線10m付(チタン)	【撤去】
TIC2	デジタル指示調節器	SDC200	7	ON-OFF式	【撤去】
MV3	小型電動ボール弁20A	VY6010A	7		【撤去】
EL	油面指示装置	EL-83100	1		【撤去】
SL	油面制御装置	SL-42	1	W/FS2(塩ビ)	【撤去】
R	補助ルー		3		【撤去】
RE	ローリーアース	RE-SUS	1		【既存のまま】
٧	感電装置		1	ボイラー付属品	【撤去】

→ボィラ停止

凡例

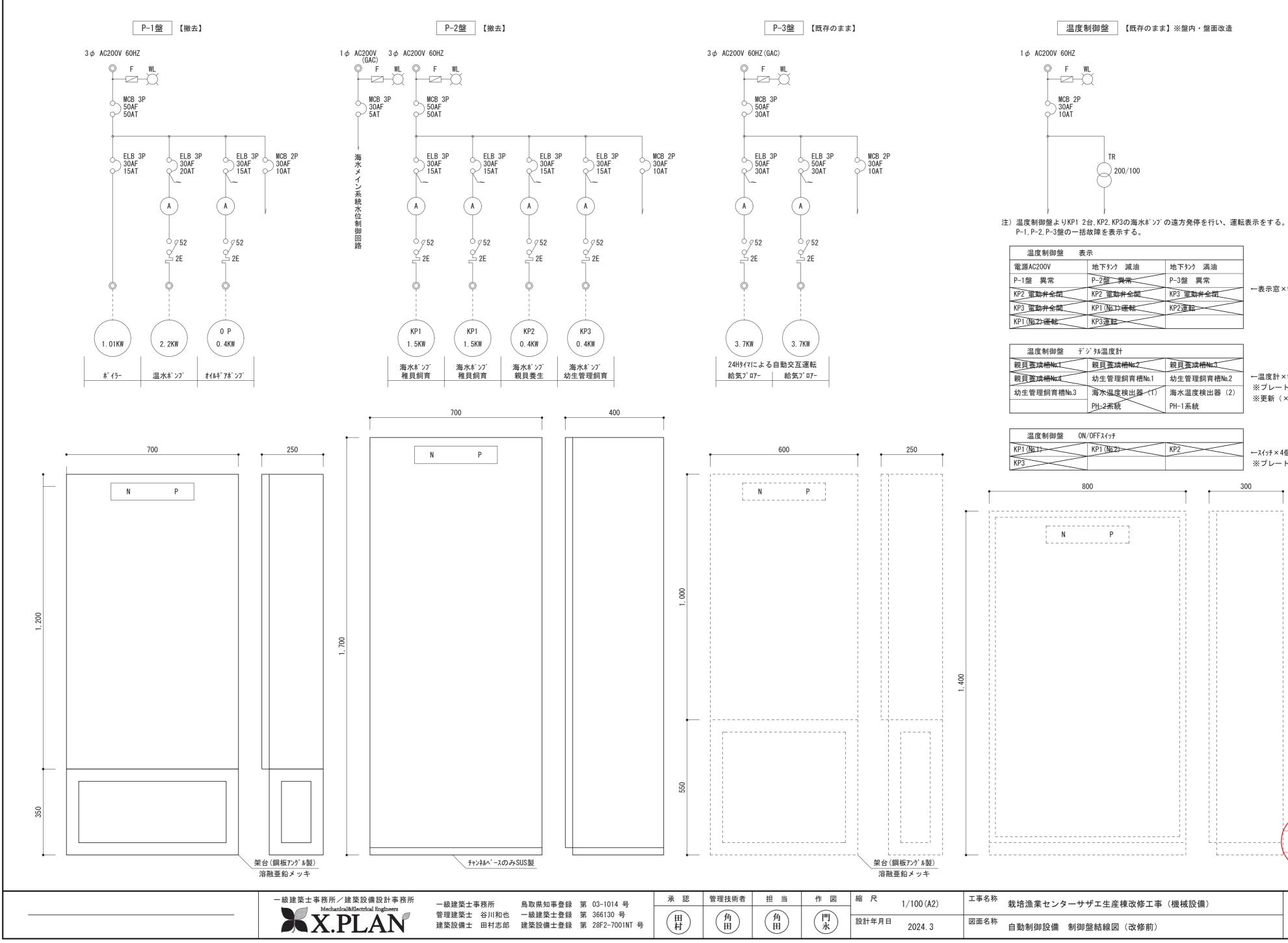
- → - IV1.25sqは2sq相当を示す。斜線は本数。

― — ● – 制御用シールドケーブルを示す。斜線は本数。

〜 1¢AC200V又は100Vを示す。



管理技術者	担当	作図	縮尺	NS	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号	
				No			M-26 /	L
角田	角田	(門 永	設計年月日	2024. 3	図面名称	自動制御設備 制御系統図・制御機器表(改修前)	29	





 		架台(鋼板アングル製) 溶融亜鉛メッキ		鳥取県 令和5年度 J2301327 中部環境建築 局
担当	作図	縮尺 1/100(A2)	^{工事名称} 栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事(機械設備)	図面番号
角田	門永	設計年月日 2024.3	^{図面名称} 自動制御設備 制御盤結線図(改修前)	M-27 29
		·		

←表示窓×9個【撤去】

←温度計×9個【撤去】

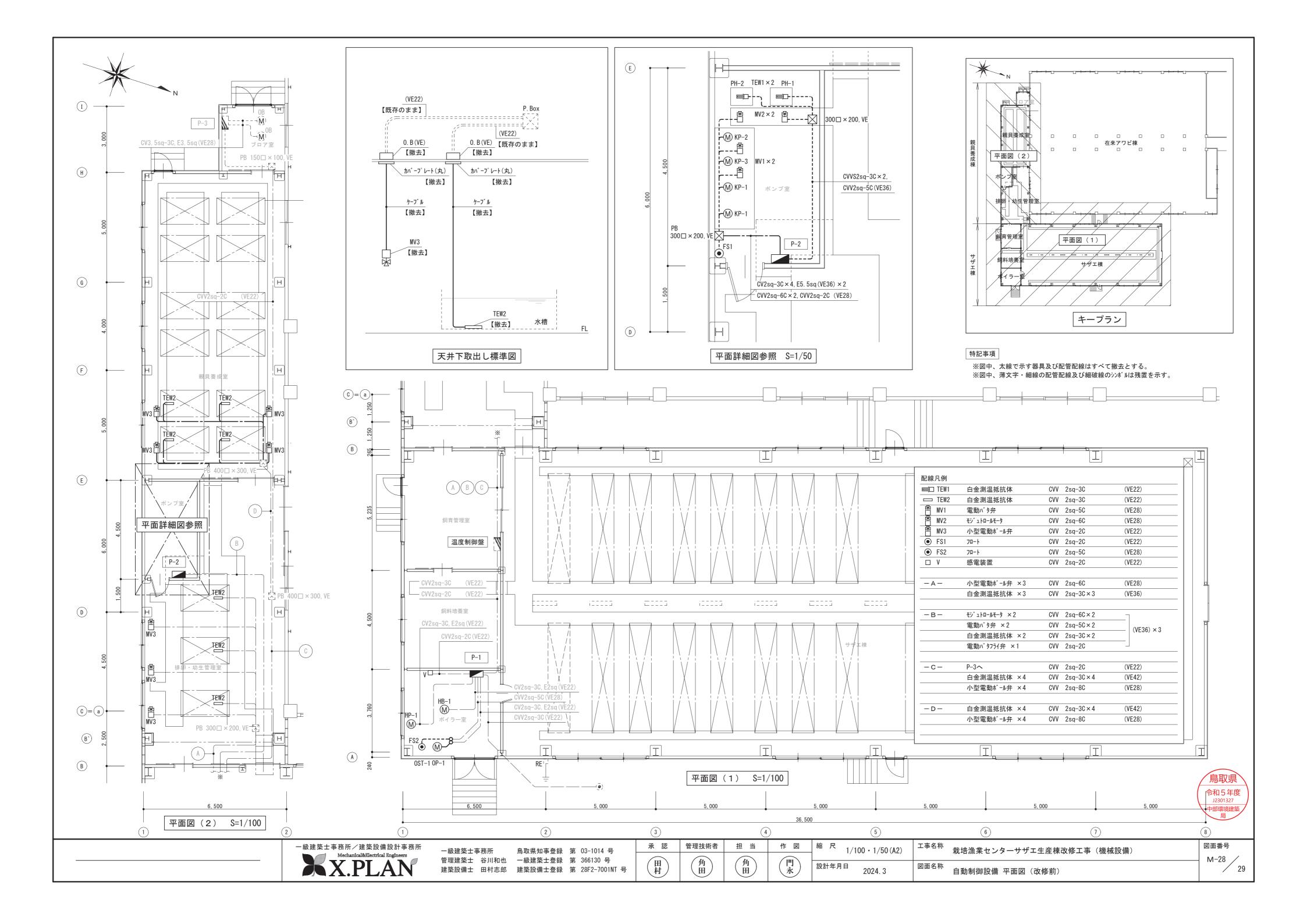
※更新(×4個)

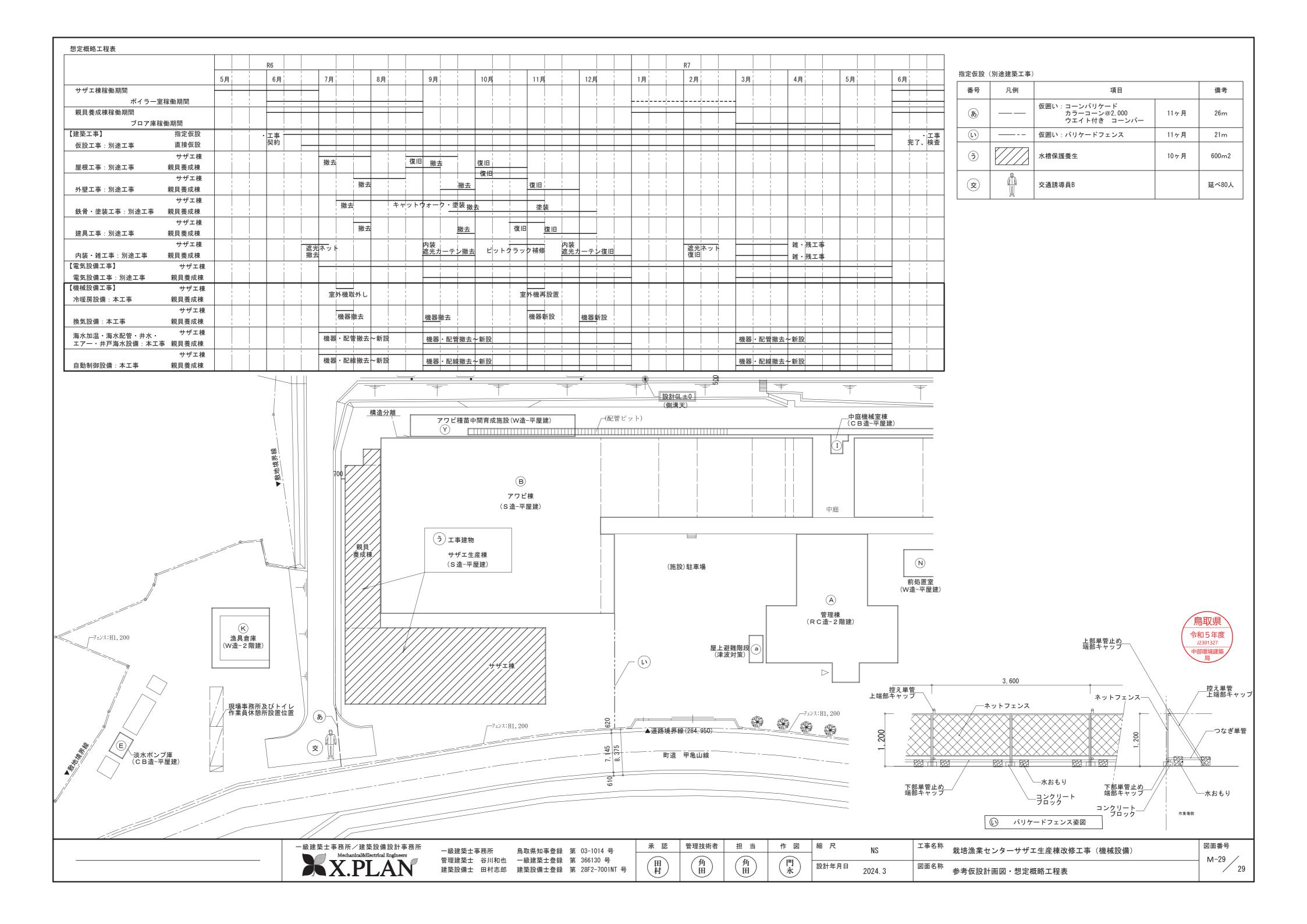
←スイッチ×4個【撤去】

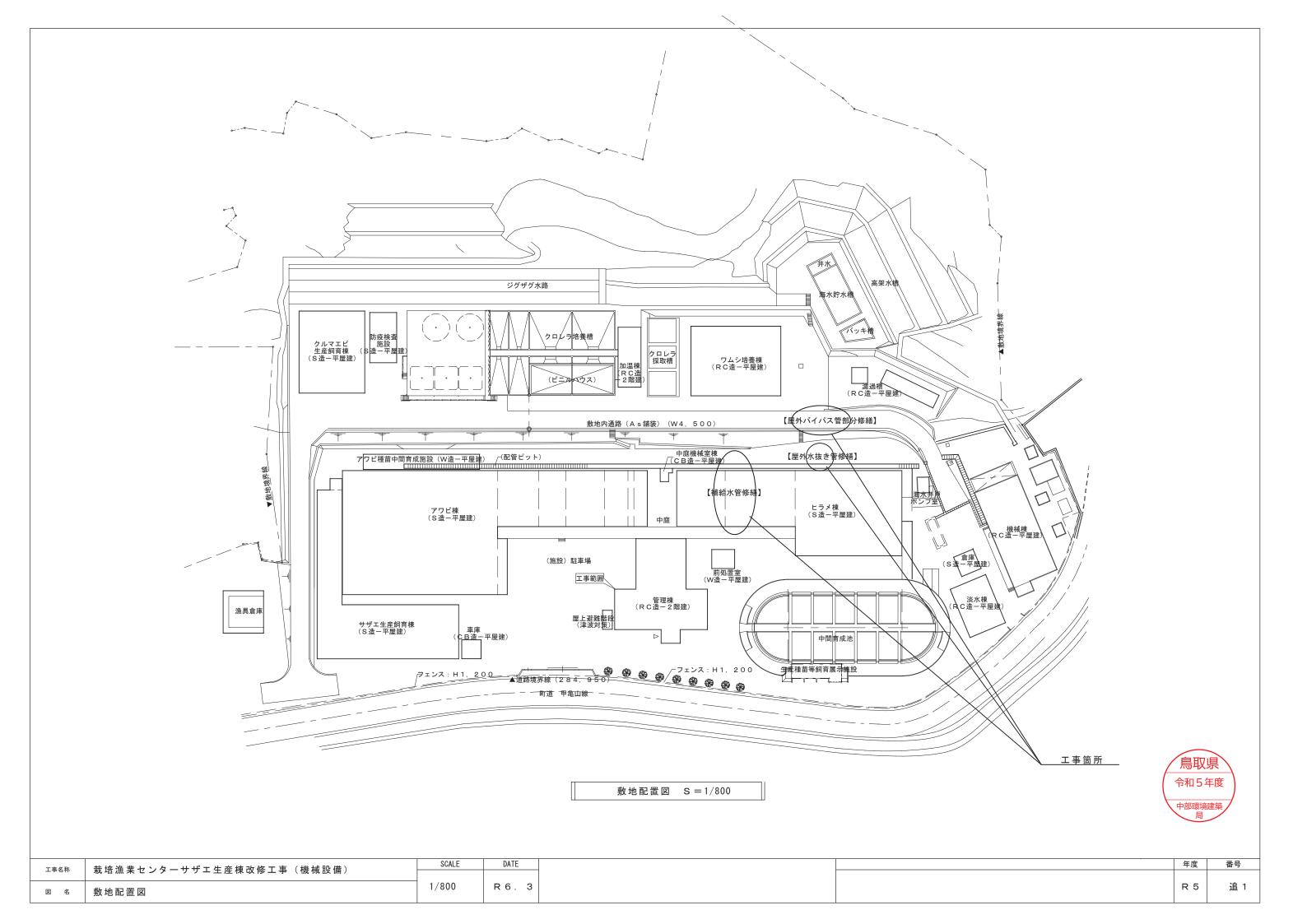
※プレート取付

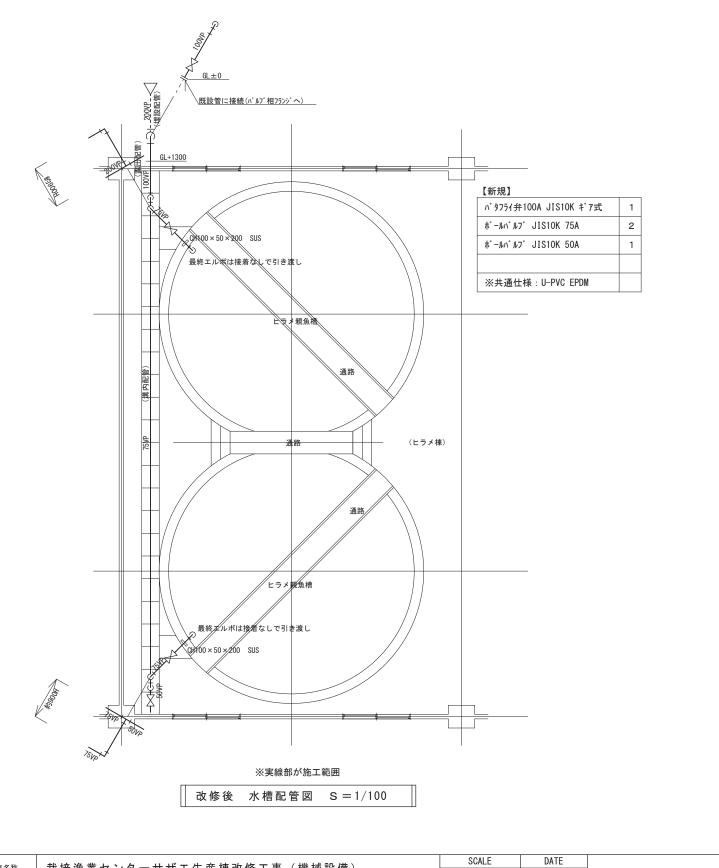
300

※プレート取付(×5個)









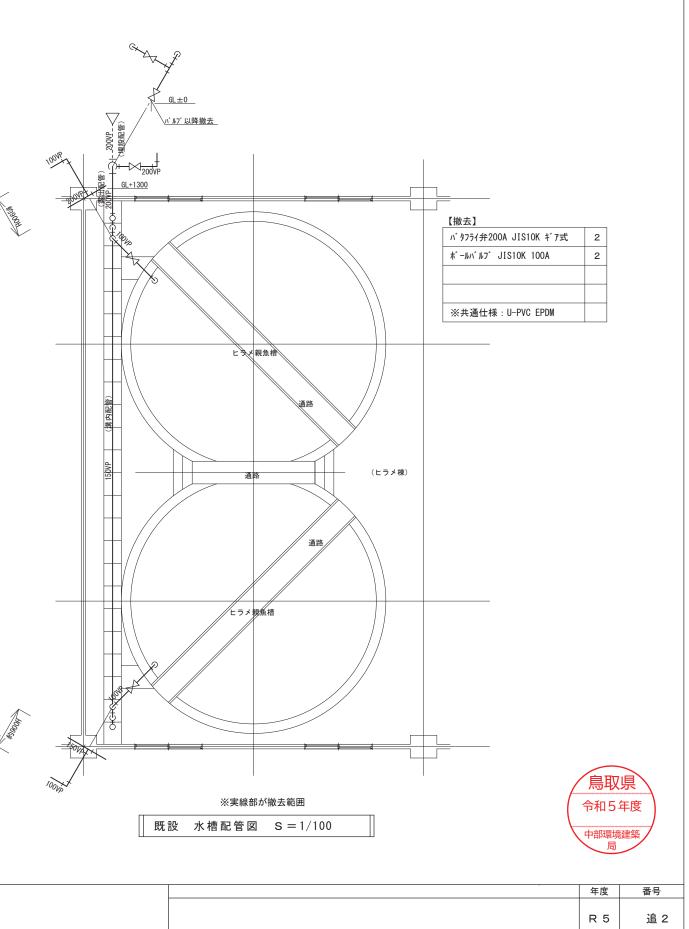


図 名 改修、既設水槽配管図 1/100 R 6.3	工事名称	栽培漁業センターサザエ生産棟改修工事 (機械設備)	SCALE	DATE
図 名 改修、既設水槽配管図 1/100 R.6.3	エヂロゕ	私 山 点 未 ピ ノ メー り り エ 土 座 保 以 修 工 争 (彼 做 改 備)	-	
	図 名	改修、既設水槽配管図	1/100	R6.3

